



安城市次世代育成支援行動計画（後期計画）

実施状況報告書

平成25年度

（案）



安城市子育て健康部子育て支援課

重点推進項目の実施状況

			具体的施策No.
(1) 地域における子育ての支援	・ ・ ・ ・ ・	1 ページ	3 ・ 4 ・ 13 ・ 17 ・ 24 ・ 48
(2) 母性並びに乳児及び幼児などの健康の確保及び増進	・ ・ ・ ・ ・	2 ページ	69 ・ 94
(3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	2 ～ 3 ページ	100 ・ 101 ・ 128 ・ 144 ・ 154
(4) 子育てを支援する生活環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	3 ページ	178 ・ 179
(5) 職業生活と家庭生活との両立の推進	・ ・ ・ ・ ・	4 ページ	184
(6) 子どもの安全の確保	・ ・ ・ ・ ・	4 ページ	224 ・ 227
(7) 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進	・ ・ ・ ・ ・	5 ページ	230 ・ 248

基本施策と具体的施策の実施状況

(1) 地域における子育ての支援	・ ・ ・ ・ ・	6 ページ	1 ～ 67
(2) 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	・ ・ ・ ・ ・	1 2 ページ	68 ～ 99
(3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	1 6 ページ	100 ～ 168
(4) 子育てを支援する生活環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	2 4 ページ	169 ～ 182
(5) 職業生活と家庭生活との両立の推進	・ ・ ・ ・ ・	2 6 ページ	183 ～ 216
(6) 子どもの安全の確保	・ ・ ・ ・ ・	2 9 ページ	217 ～ 229
(7) 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進	・ ・ ・ ・ ・	3 1 ページ	230 ～ 260

(1) 地域における子育ての支援

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
1 (3)	ファミリー・サポート・センター事業の推進		子育て支援課	22	23	24	25	26
	概要	育児の援助をする人と、してもらいたい人たちが会員となり、互いに助け合う会員組織の事業		<基準値> 会員数 600人				
	H24実績	依頼会員 604人、提供会員 59人、両方会員 49人 活動件数 3,460件		平成24年度 会員数 712人				
	H25実績	依頼会員 615人、提供会員 60人、両方会員 49人 活動件数 3,108件		平成25年度 会員数 724人				
2 (4)	方向性	事業のPRを推進し、提供会員、両方会員数の増加を図ることによって、多様なニーズに対応できる体制を確立する。		<目標指標> 会員数 650人				
	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の推進		子育て支援課	22	23	24	25	26
	概要	放課後に保護者のいない家庭の小学校低学年児童を学校の専用施設などで預かる事業		<基準値> 実施箇所数 28箇所 定員数 1,060人				
	H24実績	実施箇所数 33箇所 定員数 1,205人 登録児童数 1,073人		平成24年度 実施箇所数 33箇所 定員数 1,205人				
3 (13)	H25実績	実施箇所数 35箇所 定員数 1,280人 登録児童数 1,119人		平成25年度 実施箇所数 35箇所 定員数 1,280人				
	方向性	事業の対象が小学生と拡大されたことに伴い、計画策定をしていく。		<目標指標> 実施箇所数 32箇所 定員数 1,140人				
	つどいの広場事業の推進		子育て支援課	22	23	24	25	26
	概要	子育て中の親子が気軽に集い、スタッフや他の母親たちと相談・交流することで、安心して子育てができる場所を提供する事業		<基準値> 実施箇所数 2箇所				
4 (13)	H24実績	実施箇所数 3箇所 延開設日数 547日 延利用人数 34,330人		平成24年度 実施箇所数 3箇所				
	H25実績	実施箇所数 3箇所 延開設日数 549日 延利用人数 31,524人		平成25年度 実施箇所数 3箇所				
	方向性	地域での子育て支援を充実させるため、取り組みを継続し、サービスを提供する。		<目標指標> 実施箇所数 3箇所				

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
4 (20)	子育て支援総合拠点施設整備（新規）		子育て支援課	22	23	24	25	26
	概要	地域への総合的な子育て支援、情報提供を行うための拠点機能を設けるとともに、各種講座の開催、育児サークルの育成支援、育児相談などを行う。		<基準値> 未整備				
	H24実績	利用人数 32,706人		平成24年度 実施箇所数 1箇所				
	H25実績	利用人数 29,800人		平成25年度 実施箇所数 1箇所				
5 (24)	方向性	地域子育て支援センターの中心として、地域における子育て支援の機能強化を図るとともに、市民からの問い合わせや相談に幅広く対応できるようにする。		<目標指標> 実施箇所数 1箇所				
	夜間帯保育事業の推進（新規）		子ども課	22	23	24	25	26
	概要	夜間に仕事を持っている保護者を対象に、保育園で夜間（22時）まで延長保育を実施する事業。		<基準値> 未実施				
	H24実績	引き続き、22時までの延長保育を実施した。		平成24年度 実施箇所数 1箇所				
6 (48)	H25実績	引き続き、22時までの延長保育を実施した。		平成25年度 実施箇所数 1箇所				
	方向性	夜間帯保育に対するニーズ把握に努め、保護者の様々な就労形態にあわせた保育サービスを提供する。		<目標指標> 実施箇所数 1箇所				
	放課後子ども教室推進事業（新規）		生涯学習課	22	23	24	25	26
	概要	放課後の安全安心な居場所を確保し、地域住民の参画を得て、子どもたちとの交流活動などにより、地域の教育力の向上を図る。		<基準値> 未実施				
7 (48)	H24実績	梨の里小学校、桜井小学校、今池小学校にて引き続き実施した。		平成24年度 実施箇所数 3箇所				
	H25実績	梨の里小学校、桜井小学校、今池小学校にて引き続き実施した。		平成25年度 実施箇所数 3箇所				
	方向性	社会状況、余裕教室の状況などを鑑み、現在の体制を再整備する。		<目標指標> 実施箇所数 平成23年度までに2校				

(2) 母性並びに乳児及び幼児などの健康の確保及び増進

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
7 (69)	妊婦健康診査の推進 (健康日本21安城計画)		健康推進課	22	23	24	25	26
	概要	妊婦を対象とした医療機関における健康診査。		<基準値> 妊娠11週目までの 届出率 56.7%				
	H24 実績	妊婦健診(指定項目)を14回分助成(GBS検査を第8回から第10回の検査項目へ変更) 受診票交付数 30,306件 受診数 25,437件		平成24年度 妊娠11週目までの 届出率 95.3%				
	H25 実績	妊婦健診(指定項目)を14回分助成 受診票交付数 30,849件※子宮頸がん検診除く 受診数 24,497件		平成25年度 妊娠11週目までの 届出率 95.1%				
方向性	妊娠の早期届出により、妊産婦が自分の健康を管理をすることができ、安心・安全に出産を迎えられることを目指す。		<目標指標> 妊娠11週目までの 届出率 70.0%					
8 (94)	食育の推進(新規) (安城市食育推進計画)		農務課	22	23	24	25	26
	概要	食育キャラバン隊を組織して、市内幼稚園・保育園を訪問し、紙芝居などにより食育の啓発を図る。		<基準値> 未実施				
	H24 実績	福祉会館、中心市街地交流広場、アピタ安城南店で実施。		平成24年度 実施回数 3回				
	H25 実績	山崎町公民館、中心市街地交流広場、昭林公民館、でんまあと安城西部		平成25年度 実施回数 8回				
方向性	親子一緒に参加できる内容・場所で食育を推進するためのイベントを実施していきます。		<目標指標> 実施回数 8回					

(3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
9 (100)	赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進		子育て支援課	22	23	24	25	26
	概要	小・中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、乳幼児の理解を深めるとともに、小・中学生と乳幼児がふれあう事業。		<基準値> 実施箇所数 4児童センター				
	H24実績	児童センター7箇所で実施 参加延べ人数 中学生55人、小学生85人、乳幼児175人、保護者162人		平成24年度 実施箇所数 7児童センター				
	H25実績	児童センター8箇所で実施 参加延べ人数 中学生74人、小学生215人、乳幼児397人、保護者376人		平成25年度 実施箇所数 8児童センター				
方向性	赤ちゃんふれあうことで、優しさやいたわりの気持ちを育むとともに、自分も愛されてきたことや命の大切さを実感し、将来、子育てに関わった時の貴重な予備体験とする。			<目標指標> 実施箇所数 7児童センター				
10 (101)	ボランティア体験学習の充実 (第2次安城市生涯学習推進計画)		学校教育課 子育て支援課 社会福祉協議会	22	23	24	25	26
	概要	中・高校生が体験学習として保育園や幼稚園、各種障害者施設などで、保育などのボランティア活動を体験。		<基準値> 実施				
	H24実績	全中学校で体験学習として保育園や幼稚園、障害者施設での体験活動を行っている。		平成24年度 実施箇所数37施設 参加者数2,133人				
	H25実績	小、中学校、高校を対象に福祉施設でのボランティア体験学習と総合学習の一環としての福祉学習を行っている。(内容の変更なし)		平成25年度 実施箇所数38施設 参加者数2,215人				
方向性	ボランティア体験や福祉学習の機会を提供するため、今後も施設や学校へ依頼していく。			<目標指標> 基準値の水準を維持				
11 (128)	環境アドバイザーの活用 (安城市環境基本計画)		環境首都推進課	22	23	24	25	26
	概要	小・中学校の総合学習における環境アドバイザーの活用。		<基準値> 派遣回数 22回				
	H24実績	小学校の総合学習、クリーンバスでアドバイザーを活用し、環境学習を進めた。		平成24年度 派遣回数 51回				
	H25実績	小学校の総合学習、クリーンバスでアドバイザーを活用し、環境学習を進めた。		平成25年度 派遣回数 87回				
方向性	環境アドバイザー養成講座及びスキルアップ講座を隔年で実施し、人材発掘及び育成を図るとともに、環境アドバイザーが活動できる環境学習環境を整備する。			<目標指標> 派遣回数 50回				

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.									
No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間					
12 (144)	絵本の読み聞かせの推進 (安城市子ども読書活動推進計画)		中央図書館	22	23	24	25	26	
	概要	ボランティア養成講座などの修了生による読み聞かせボランティアグループの育成と組織化の推進。							
	H24実績	子ども向け読み聞かせボランティア養成講座は実施できなかったが、南吉生誕百年を記念して、一般（子どもも含む）向けの南吉作品を朗読するボランティアグループ「南吉朗読ででむし会」を立ち上げることができた。		平成24年度	登録数	15	グループ		
	H25実績	昭林公民館との共催の「読み聞かせボランティア養成講座」の修了生により「昭林おはなしなあに」を立ち上げることができた。		平成25年度	登録数	16	グループ		
	方向性	公民館拠点の読み聞かせボランティアグループ養成はH25で終了したため、H26以降は各グループの会員補充のための養成講座を実施する		<目標指標>	登録数	16	グループ		
13 (154)	総合型地域スポーツクラブ育成事業（新規） (安城市スポーツ振興計画) (第2次安城市生涯学習推進計画)		スポーツ課	22	23	24	25	26	
	概要	地域の新しいスポーツ環境として、総合型地域スポーツクラブを体育指導委員並びに地域住民と地区公民館が連携して創設する。		<基準値>	クラブ数	1			
	H24実績	クラブ設立の要望があった地区で、10月に試行的に行事の一つ開催した（ウォークラリー）。参加者への周知の不備や役割の分担など、改善しなくてはいけないことが多くあり、組織として運営、開催できるように進めていくことが重要であると、地域の方からの意見があった。今後の進め方についても、地域でのクラブ設立の必要性和、現状の活動内容を把握をしながら、定期的な打合せの中でスポーツを通してできる事業を検討していくことで合意した。		平成24年度	クラブ数	1			
	H25実績	南部小学校区の活動の中で、町内単位で開催していたグラウンドゴルフ大会を、小学校区の町内会がまとまって校区の大会として、11月に開催することができた。今後はスポーツ推進委員が中心となり、クラブ設立に向けて組織を作ることで進めていく。		平成25年度	クラブ数	1			
	方向性	グラウンドゴルフ大会が開催できたことで、スポーツをきっかけに地域のつながりができた。世代の交流もでき、これを機に関係者とクラブの設立に向けて進めていく。		<目標指標>	クラブ数	2			

(4) 子育てを支援する生活環境の整備

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.									
No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間					
14 (178)	建築物のバリアフリー化の促進		各施設所管課 建築課	22	23	24	25	26	
	概要	愛知県「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」に基づく整備		<基準値>	整備箇所数	4	箇所		
	H24実績	安祥福祉センターを整備した。 安城東部小学校及び東山中学校の校舎トイレを整備した。		平成24年度	整備箇所	3	箇所		
	H25実績	条例の対象となる施設はないが、ゆたか保育園及び丈山第1・第2児童クラブで建物のバリアフリー化を実施した。		平成25年度	整備箇所	2	箇所		
	方向性	子どもや妊産婦をはじめ、あらゆる人が安全、安心、快適に利用できる公共建築物のバリアフリー化を推進する。		<目標指標>	整備を継続				
15 (179)	多目的トイレ・おむつ交換台、授乳室の設置		各施設所管課 建築課	22	23	24	25	26	
	概要	愛知県「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」に基づく整備		<基準値>	整備箇所数	4	箇所		
	H24実績	安祥福祉センターを整備した。 荒曽根公園に多目的トイレを1箇所整備した。		平成24年度	整備箇所	2	箇所		
	H25実績	ゆたか保育園を整備した。 安城西部小学校、桜井南公園、弥厚公園に多目的トイレを1箇所整備した。		平成25年度	整備箇所	4	箇所		
	方向性	子育て中の人を利用する公共施設に、多目的トイレやおむつ交換台、授乳室の設置を推進する。		<目標指標>	整備を継続				

(5) 職業生活と家庭生活との両立の推進

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
16 (184)	男女共同参画社会推進事業の推進 (第2次安城市男女共同参画プラン)		市民協働課	22	23	24	25	26
								
	概要	固定的性別役割分担意識の見直しと男女の多様な働き方への啓発や講座の開催		<基準値> 開催回数 5回				
	H24実績	週間・月間イベント、エンパワーメント講座、さんかく21カレッジ、実践講座を開催した。参加者1,150名		平成24年度 開催回数 5回				
	H25実績	週間・月間イベント、エンパワーメント講座、さんかく21カレッジ、実践講座を開催した。参加者1,150名		平成25年度 開催回数 5回				
方向性	男女平等の意識づくりと家庭や社会での性別役割分業について「気づく」ことや見直し、男女の多様な働き方についての啓発や講座の開催に努める。		<目標指標> 基準値の水準を維持					

(6) 子どもの安全の確保

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
17 (224)	スクールガード事業（新規）		学校教育課	22	23	24	25	26
								
	概 要	児童生徒が事件や事故に巻き込まれることなく安全・安心な学校生活が送れるように、地域と連携した安全管理体制を整備する。		<基準値> 全小学校で実施				
	H24実績	全小学校で実施		平成24年度 実施箇所数 21箇所				
	H25実績	全小学校で実施		平成25年度 実施箇所数 21箇所				
	方向性	基準値の水準を維持し、安全・安心な学校生活が送れるように地域と連携をした安全管理体制の充実を図る。		<目標指標> 基準値の水準を維持				
No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間				
18 (227)	「こども110番の家」の推進		生涯学習課	22	23	24	25	26
								
	概 要	子どもを犯罪や危険から守るための「こども110番の家」の看板の設置		<基準値> 実施箇所数 1,017箇所				
	H24実績	21小学校区にこども110番の家を設置した。		平成24年度 実施箇所数 1,022箇所				
	H25実績	21小学校区にこども110番の家を設置した。		平成25年度 実施箇所数 1,018箇所				
	方向性	子どもの緊急避難所として、通学路などにある商店や民家への設置を推進し、犯罪者への抑止効果とともに地域ぐるみの防犯意識の高揚を図る。		<目標指標> 実施箇所数 1,250箇所				

(7) 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

No. の () は基本方針の具体的施策のNo.

No.	具 体 的 施 策		担当課	実施期間					
19 (230)	安城市虐待等防止地域協議会の推進 (第2次安城市地域福祉計画)		子育て支援課	22	23	24	25	26	
									
	概 要	関係機関との情報交換による児童虐待の早期発見、防止活動、援助活動及び啓発活動		<基準値> 代表者会議開催 2回					
	H24実績	地域協議会（代表者会議）を3回、実務者会議を12回、ケース検討会議を36回開催した。		平成24年度 代表者会議開催 3回					
	H25実績	地域協議会（代表者会議）を3回、実務者会議を12回、ケース検討会議を38回開催した。		平成25年度 代表者会議開催 3回					
	方向性	関係機関が子どもの虐待問題について共通の認識を持ち、相互の連携・協力のもとに虐待相談や防止対策に向けた取組の推進に努める。		<目標指標> 代表者会議開催 3回					
20 (248)	特別支援教育補助員事業（新規）		学校教育課	22	23	24	25	26	
									
	概 要	発達障害をはじめ様々な要因により、学校生活や学習において困難を抱えている生徒に対し、個別支援により対象となる児童生徒の健やかな成長を支援する。		<基準値> 全小・中学校で実施					
	H24実績	特別支援教育補助員を全小中学校に配置		平成24年度 実施箇所数 29校					
	H25実績	特別支援教育補助員を全小中学校に配置		平成25年度 実施箇所数 29校					
	方向性	特別支援教育補助員に各障害に関する知識や適切な支援について研修を実施し、特別な支援を要する児童に対してより適切な支援ができるよう質的な充実を図る。		<目標指標> 基準値の水準を維持					

基本方針(1) 地域における子育ての支援

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課	
ア 地域 における子育て支援 サービスの充実	(ア)児 童及び その保 護者又はその 他の者の居宅 において支援 する事業	1	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)(新規)	・生後4か月を迎えるまでの乳児のいる全家庭を訪問し、子育てに関する情報の提供、乳児及び保護者の心身の状況及び養育環境の把握、養育の相談に応じ、助言その他援助を行う。 第1子(全戸)と第2子以降希望者の家庭訪問 延べ 1,141人 第1子訪問実施率 85.3%	全戸訪問 実施率 102.8%	99.4%	99.5%	99.5%	訪問対象家庭数 1,915件 赤ちゃん訪問家庭数 1,906件	全戸訪問実施率 93%	◎	継続	子育て支援情報の提供や不安や悩みに対しての相談に応じることで、母親が育児に行き詰らないようにするとともに、育児支援の必要な方を養育支援訪問事業へと結びつけていく。	健康推進課 (保健センター)	
		2	養育支援訪問事業の推進	・出産後間もない時期(概ね1年程度)の保護者の産後うつなどにより、乳児の養育に支障が生じた時の家庭における育児や家事の支援、生後2か月までの乳児のいる核家族などで昼間、養育者の援助をするものがない家庭の家事援助をする事業。 養育支援員 1人	1人	1人	延べ利用者数 14人 ホームヘルパー派遣による家事援助 89回 118時間	延べ利用者数 26人 ホームヘルパー派遣による家事援助 178回 289時間	延べ利用者数 19人 ホームヘルパー派遣による家事援助 115回 193時間	延べ利用者数19人 ホームヘルパー派遣による家事援助115回 193時間	養育支援員 1人	◎	継続	児童虐待の未然防止の観点から今後も継続していく必要がある。	子育て支援課 社会福祉協議会
		3	ファミリー・サポート・センター事業の推進	・育児の援助をする人としてもらいたい人たちが会員になり、お互いに助け合う会員組織の事業。 会員数 600人 依頼会員494人 提供会員 51人 両方会員 55人	635人 519人 63人 53人	663人 553人 60人 50人	712人 604人 59人 49人	724人 615人 60人 49人	会員数 724人 活動件数 3,108件	会員数 650人	◎	継続		子育て支援課 社会福祉協議会	
(イ)保 育園又はその 他の施設において支援 する事業	4	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の推進	・放課後に保護者のいない家庭の小学校低学年児童を学校の専用施設等で預かる事業	実施箇所数 28箇所 定員 1,060人	30箇所 定員 1,135人	32箇所 定員1,205人	33箇所 定員 1,205人	35箇所 定員 1,280人	文山児童クラブの専用施設で整備し、第2児童クラブを開設した。	実施箇所数 32箇所 定員数 1,140人	◎	継続		子育て支援課	
	5	児童センター運営の推進	・児童に健全な遊びを与えることにより、体力を増進し情操を豊かにする事業	実施箇所数 7箇所	7箇所	7箇所 内社会福祉協議会運営2箇所	7箇所 内社会福祉協議会運営2箇所	8箇所 内社会福祉協議会運営3箇所	安祥児童センターを4月に開設した。	実施箇所数 9箇所	○	継続		子育て支援課 社会福祉協議会	
	6	子育て短期入所生活支援事業(ショートステイ)の充実	・保護者の疾病などの理由により、家庭において児童の養育が困難になったときに児童養護施設などで一時的に養育する事業	実施箇所数 2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	2人6件	実施箇所数 2箇所	◎	継続	児童及びその家庭の福祉の向上を目的に継続していく。	子育て支援課	
	7	病児・病後児保育事業の推進(新規)	・病気の回復に至らない又は病気の回復期にあり、集団での保育が困難な生後6か月から小学校3年生までの児童で、保護者の就労などの理由により家庭で保育を受けることができない場合に限り、連続7日間を限度に児童を預かる事業	病後児保育 実施箇所数 1箇所	1箇所 4人(日)	1箇所 4人(日)	1箇所 4人(日)	1箇所 4人(日)	利用人数 95人 利用延人数 182人	実施箇所数 1箇所 定員数 4人(日)	◎	継続	22年7月から病児も対象。今後も子育て支援の保育事業として、継続実施していく。	子ども課	
	8	一時保育事業の推進	・保護者の疾病や冠婚葬祭、介護などの理由により、児童の保育が困難になったときに一時的に預かる事業	実施箇所数 7箇所 定員数 75人(日) 安城、さくら、二本木、光徳、根崎、すずらん、よさみ保育園	7箇所 75人(日)	7箇所 75人(日)	9箇所 83人(日)	9箇所 83人(日)	新田、桜井、みその、光徳、根崎、すずらん、よさみ、じけいの森、げんきのもり保育園の9箇所で実施 定員各10人(日) 累計9,920人利用	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育事業として、継続実施していく。	子ども課	
	9	特定保育事業の推進	・短時間又は日数が少ない就労の理由により、児童の保育が困難になったときに一時的に預かる事業	実施箇所数 2箇所 定員数 25人(日) さくら、光徳	2箇所 20人(日)	2箇所 20人(日)	2箇所 20人(日)	2箇所 20人(日)	桜井、光徳保育園の2箇所で実施 定員各10人(日) 累計1,522人利用	実施箇所数 3箇所 定員数 35人(日)	△	継続	特定保育に対するニーズの把握に努めるとともに、保護者の様々な就労形態にあわせた保育サービスを提供する。	子ども課	
	10	幼稚園における預かり保育の検討	・幼稚園の入園児童を対象に通常の教育時間終了後に継続して保育する事業	検討中	検討中	検討中	検討中	結論	平成26年4月1日から開始することとし実施要綱等を整備し、案内文書を作成し内容を保護者等に周知した。	検討年度 平成22年度	◎	継続	今後も子育て支援の保育事業として、継続実施していく。	子ども課	

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 地域 における子育て支援 サービスの充実	(ウ)地 域の児 童の養 育に関 する情 報の提 供及び 助言を 行う事 業	11	ファミリー・サ ポート・センター 事業の推進(再 掲)	(再掲3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		12	地域子育て支援 センター事業の 推進	・子育て家庭を対象とした育児相談 や子育てサークルの支援などを地 域ごとに行う事業	実施箇所数 5箇所 安城、二本木、あけ ぼの、根崎、さくら子育 て支援センター	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所 利用人数42,015人	基準値の水準を維持	◎	継続		子育て支援課
		13	つどいの広場事 業の推進	・子育て中の親子が気軽に集い、ス タッフや他の母親たちと相談・交流 することで、安心して子育てできる 場所を提供する事業	実施箇所数 2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	開設日数 547日 利用人数 31,524人	実施箇所数 3箇所	◎	継続		子育て支援課
		14	にこにこランド事 業の推進	・児童センターにおいて子育て中の 親子が気軽に相談、交流ができる 場を提供する事業	0歳児対象 4児童センター 未就園児対象 7児童センター	5児童センター 7児童センター	5児童センター 7児童センター	5児童センター 7児童センター	6児童センター 8児童センター	利用人数 0歳児 1,156人 未就園児 16,214人	0歳児対象 7児童センター 未就園児対象 8児童センター	○	継続		子育て支援課
		15	移動児童館事業 の推進	・各公民館及び町内会事務所・公民 館を利用し、専門スタッフが出向い て地域の人々との交流を交えなが ら遊びの場を提供する事業	開催箇所 4箇所 東部、安祥、南部、 高棚	4箇所	4箇所	4箇所	3箇所	参加人数 乳幼児 1,782人 保護者 1,344人 小学生 79人	実施箇所数 2箇所 ※安祥、南部児童セ ンター開設に伴い、 移行	◎	継続		子育て支援課
		16	子育て相談の充 実	・保育園・幼稚園における子育て相 談、情報の提供	実施箇所数 保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 33箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 35箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 35箇所 公立幼稚園 4箇所 で実施	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援事業と して、継続実施していく。	子ども課
	(エ)子 育て支 援事業 に関する情報 の提供、相 談及びあっ せん、調 整及び要 請などの実 施	17	子育て支援総合 拠点施設整備 (新規)	・子育て支援総合拠点施設として安 城保育園跡施設を改修整備し、乳 幼児親子を対象としたあそびの広 場を常設するとともに、各種講座の 開催や、育児サークルの育成支 援、育児相談などを行う。ファミリ ーサポートセンターを併設し、地域へ の総合的な子育て支援、情報提供 などを行う。	未整備	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	あんぱーく 平成25年利用人数 29,800人	実施箇所数 1箇所 定員数 4人(日)	◎	見直し・ 改善	整備をできたことにより、 目的は達成された。	子育て支援課
		18	子どもの生活相 談の充実	・子育てに関する悩みなどの相談の 実施	実施場所 総合福祉センター 第2・4金曜日 相談件数 13件	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	実施場所 総合福祉センター 第2・4土曜日に実施 相談件数 9件	基準値の水準を維持	◎	継続	相談件数が増えるよう にPRを充実していく。	社会福祉協議会
イ 保育 サービ スの充 実		19	通常保育事業の 推進	・受入体制の整備	実施箇所数 31箇所 定員数 3,630人(日)	31 箇所 3,630 人(日)	31 箇所 3,640 人(日)	33 箇所 3,800 人(日)	35 箇所 3,830 人(日)	全保育園35箇所 で実施 3月末3,744人在籍	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課
		20	延長保育事業の 充実	・保育園の通常保育時間外に仕事 を持っている保護者を対象に保育 園を開園する事業 2箇所 1日11時間以上開園	実施箇所数 15箇所 7時15分～19時開園 10箇所 7時～20時開園 2箇所 7時15分～20時開園 3箇所	15箇所	15箇所	16箇所	17箇所	開園時間 7時15分～19時11箇所 7時～20時 1箇所 7時15分～20時 4箇所 7時～22時 1箇所 計 17箇所 年間利用人数 公立 16,348人 民間 1,693人 計 18,041人	実施箇所数 16箇所	◎	継続	地域と全体のバランスを 図りつつ、今後も子育て 支援の保育事業として、 継続実施していく。	子ども課

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 保育 サービ スの充 実	21	乳児保育事業の 充実	・産前産後休暇や育児休業終了後の 就労に対応するための0歳児から の保育事業	実施箇所数 18箇所 6週間からの受入 5箇所 6か月からの受入13箇 所	20箇所	19箇所	23箇所	23箇所	6週間からの受入 6箇所 6か月からの受入 17箇所 計23箇所を実施 3月末(0歳児) 59人在籍	実施箇所数 19箇所	◎	継続	地域と全体のバランスを 図りつつ、今後も子育て 支援の保育事業として、 継続実施していく。	子ども課		
	22	病児・病後児保 育事業の推進 (新規、再掲)	(再掲7)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課	
	23	休日保育事業の 推進	・日曜日及び祝日に仕事を持ってい る保護者を対象とした保育園を開園 する事業	実施箇所数 2箇所 定員数 100人(日) 南部、二本木	2箇所 100人(日)	2箇所 200人(日)	2箇所 200人(日)	2箇所 200人(日)	南部、二本木保育園の 2箇所を実施 定員各100人(日) 累計1,436人利用	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課		
	24	夜間帯保育事業 の推進(新規)	・夜間に仕事を持っている保護者を 対象に、保育園で夜間(22時)まで 延長保育を実施する事業	午後8時までの延長 保育利用保護者に、 ニーズ調査を実施し検 討した。	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	よさみ保育園で実施	実施箇所数 1箇所	◎	継続	夜間保育に対するニーズ の把握に努めるとともに、 保護者の様々な就労形 態にあわせた保育サービ スを提供する。	子ども課		
	25	特定保育事業の 推進(再掲)	(再掲9、199)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課	
	26	一時保育事業の 推進(再掲)	(再掲8、198)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課	
	27	障害児保育事業 の充実	・保育園において軽・中程度の集団 保育が可能な障害児を受け入れた 保育事業	実施箇所数 23箇所	14箇所	13箇所	16箇所	20箇所	公私立合わせて20箇所 で 実施 児童数 43人	基準値の水準を維持	△	継続	公立保育園は全園での 受け入れ体制ができてお り、今後も継続実施して いく。	子ども課		
	28	保育園地域活動 事業の充実	・保育園の有する専門機能を活用し た世代間交流や異年齢児交流など の事業	実施箇所数 15箇所	22箇所	23箇所	20箇所	21箇所	高齢者、異年齢児との ふれあいや七夕まつり 会・運動会等の行事を 通して地域の人々との 交流	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課		
	29	保育園の整備	・施設の老朽化に伴う改築や耐震 性の向上を図るための整備	整備箇所数 3箇所 錦、作野、和泉保育 園の耐震補強工事	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	ゆたか保育園の移転改 築完了	整備箇所数 2箇所 (東端、ゆたか保育 園改修工事)	◎	継続		子育て支援課		
	30	看護師巡回相談 の充実	・保育園の入園児童を対象とした看 護師による健康相談	実施箇所数 23箇所	23箇所	23箇所	23箇所	23箇所	子ども課保健師が各園 に訪問	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課		
	31	保育サービス評 価事業の推進	・保育サービスの質について、第三 者機関が専門的、客観的立場から 評価する事業	実施箇所数 公立保育園 3園 私立保育園 3園	公立 3箇所 私立 2箇所	公立 3箇所 私立 0箇所	公立 3箇所 私立 0箇所	公立 3箇所 私立 0箇所	公立:さくら・新田・赤松 保育園 私立:なし	未実施園について順 次実施	△	継続	外部評価を計画的に実 施していく。	子ども課		
	32	認可外保育施設 への支援	・認可外保育施設の運営に関する 費用の支援	支援制度に該当する 施設なし	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	県の指導監査 6箇所実施	支援制度を継続	○	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課		
	33	民間児童クラブ への支援	・民間児童クラブの運営に関する費 用の補助	補助箇所数 5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所の民間児童クラ ブへ家賃の補助を行っ た。	基準値の水準を維持	◎	継続		子育て支援課		
	34	施設費補助事業 の充実	・認可外保育施設や民間児童クラブ などの施設整備に関する費用の補 助	補助箇所数 施設 3箇所 児童クラブ 3箇所	6箇所	5箇所	7箇所	9箇所	補助した施設 福釜保育所、エスコ ーラサンパウロ、ふぁみ っこランド桜町園、託児所 こどもひろば、更生病 院ひまわり園、ひまわり クラブ、なかよしクラブ、 安城つくしクラブ、みつ ばちぶんぶん	基準値の水準を維持	◎	継続	各対象施設に対して、施 設の設備補助を行うこと で、適切な保育ができる ため、今後も実施してい く。	社会福祉協議会		

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 子 育て支 援の ネット ワーク づくり		35	子育てサークル やボランティアグ ループとの連携	・地域において子育て支援を行って いる子育てサークルやボランティア グループとの連携	実施箇所数 7児童センター	7箇所	7箇所	7箇所	8箇所	各児童センターで実施	基準値の水準を維持	◎	継続	必要に応じて、子育て サークルと連携していく。	子育て支援課	
		36	町内ふれあい交 流活動の支援	・町内福祉委員会活動の中で、世 代間交流を主としたサロン活動の支 援	実施箇所数 町内福祉委員会 80箇所 ボランティア団体 6箇所	111箇所	115箇所	120箇所	120箇所	実施箇所数 町内福祉委員会 113箇所 ボランティア団体 7箇所	基準値の水準を維持	◎	継続	町内福祉活動計画に 沿った活動については、 引き続き開催を支援して いく。	社会福祉協議会	
				・町内福祉委員会活動の中で、長 期休暇(夏休みなど)における児童 の見守り活動の支援	実施福祉委員会 城ヶ入町、和泉町、 東端町	4箇所	5箇所	7箇所	8箇所	実施箇所数 町内福祉委員会 8箇 所	実施箇所数 5箇所		継続	町内福祉活動計画に 沿った活動については、 引き続き開催を支援して いく。		
		37	子育て支援総合 拠点施設整備 (新規・再掲)	(再掲17、203)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課	
		38	子育て支援ネット ワーク会議の開 催	・地域において子育て支援を行って いる子育てサークル及びボランティ アグループ、関係機関などの情報 交換	ネットワーク会議 2回開催	2回開催	2回開催	2回開催	2回開催	開催回数 2回 関係機関との情報交換 を行った。	基準値の水準を維持	◎	継続	情報交換をすることによ り、他の機関の施策も知 ることができ、情報提供 にもつなげていく。	子育て支援課	
		39	子育て支援総合 ガイドブックの作 成	・子育て支援情報を総合的にまとめ た子育て支援マップや子育てガイド ブックの作成	配布部数 5,000部	5,000部	5,000部	5,000部	5,000部	子育て支援センター、 児童センター、公民館 等で配布した。また、市 外からの転入家庭に子 ども課窓口で配布し た。	基準値の水準を維持	◎	継続		子育て支援課	
		40	生涯学習情報誌 の作成・発行	・親子、子ども向けの情報コーナー を設定	年4回、全戸配布	4回	4回	4回	4回	生涯学習情報誌「あん てな」に親子・子ども向 けの情報を掲載。年4 回発行。	基準値の水準を維持	◎	継続		生涯学習課	
		41	安城市虐待等防 止地域協議会の 開催(再掲)	(再掲230)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課	
エ 児童 の健全 育成	(ア)子 どもの 居場所 づくり の推進	42	放課後児童健全 育成事業(児童 クラブ)の推進 (再掲)	(再掲4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課	
		43	児童センター運 営の推進(再掲)	(再掲5、42、172)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課 社会福祉協議会	
		44	民間児童クラブ への支援(再掲)	(再掲33)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課	
		45	移動児童館事業 の推進(再掲)	(再掲15)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課	
		46	学校施設開放の 充実	・子どものスポーツ活動の場として 休日に学校施設を開放	実施箇所数 小学校 21校 中学校 8校 高等学校 5校	実施箇所数 21校 8校 5校	実施箇所数 21校 8校 5校	実施箇所数 21校 8校 5校	実施箇所数 21校 8校 5校	子ども会や地域のス ポーツクラブの活動の 場として、学校施設を 開放して利用してもら うことができた。	基準値の水準を維持	◎	継続		スポーツ課	
		47	園庭開放の充実	・保育園、幼稚園の園庭の開放によ る入園児童と地域児童との交流事 業	実施箇所数 保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	全保育園 31箇所 公立幼稚園 4箇所	保育園 32箇所 公立幼稚園 4箇所	保育園 32箇所 公立幼稚園 4箇所	保育園 32箇所 公立幼稚園 4箇所 で実施	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。交流の充実を 図っていく。	子ども課	

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
エ 児童 の健全 育成	(ア)子 どもの 居場所 づくり の推進	48	放課後子ども教室 推進事業(新規)	・子どもたちの放課後の安全安心な 居場所を確保するとともに、地域住 民の参画を得て、子どもたちとと もに交流活動などの取り組みをするこ とにより地域の教育力の向上を図 る。	未実施	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	梨の里、桜井小学校、 今池小学校にて引き続 き実施した。	実施箇所数 平成23年度までに2 校	◎	継続	社会状況、余裕教室の状 況などを鑑み、現在の体 制を再整備する。	生涯学習課
		49	ジュニアスポーツ 活動の支援	・体育協会が行うスポーツ活動を通 じた心身ともに健康な体力づくりを 目的としたジュニアスポーツ活動へ の支援	ジュニアのスポーツ選 手育成事業として、体 育協会加盟内の16団 体及びスポーツ少年 団の活動を支援した。 会員数(小学生)4,224 人	4,360人	4,701人	4,645人	4,577人 (うちスポ少 623人)	各競技団体が主管とな り開催するジュニア育 成事業を実施すること ができた。	支援を継続	◎	継続		スポーツ課	
		50	スポーツスクー ル・教室の開催	・スポーツ活動を通じた心身ともに 健康な体力づくりを目的としたス ポーツスクール・教室の開催	開催数 11スクール 760人 12教室 1,146人	11スクール 900人 13教室 1,247人	11スクール 935人 13教室 1,282人	11スクール 1,015人 13教室 1,273人	11スクール 1,015人 13教室 1,273人	気軽に参加してもらい、 継続的にスポーツに取り 組めるように、教室や スクールを開催すること ができた。	開催数 スクール数 12 教室数 12	◎	継続		スポーツ課	
		51	子ども会等地域 活動の機会の充 実(再掲)	(再掲150)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		52	青少年の家にお ける自主活動の 支援(再掲)	(再掲106)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		53	青少年の家の充 実(再掲)	(再掲107)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
	(イ)経 済的支 援の充 実	54	子ども手当の支 給(新規)	・「子ども手当法」に基づく手当の支 給	未実施	実施	実施	実施	実施	実施	児童手当を適正に支給 した	支給を継続	◎	継続	法改正により平成24年度 から児童手当として法令 に従い支給。	子育て支援課
		55	就学援助費の支 給	・「就学困難な児童及び生徒に係る 就学奨励についての国の援助に関 する法律」に基づく援助	要保護児童生徒 39人 準要保護児童生徒 693人	65人 707人	66人 758人	51人 752人	51人 773人	基準値の水準を維持	援助を継続	◎	継続		学校教育課	
		56	私立高等学校な ど授業料の補助	・私立高等学校等に在籍する者の 保護者に対する授業料の補助	申請者 921人 受給者 889人	871人	918人	1,027人	1,046人	申請者 1,046人 受給者 1,026人	補助を継続	◎	継続		教育委員会 総務課	
		57	奨学金の支給	・能力があるにもかかわらず、経済 的理由により高等学校の就学が困 難な生徒に対する奨学金の支給	申請者 51人 受給者 43人 否認者 8人	57人	48人	44人	58人	申請者 58人 (新規31人、継続27人) 受給者 48人 (新規26人、継続22人) 否認者 10人 (新規 5人、継続 5人)	支給を継続	◎	継続		教育委員会 総務課	
(ウ)地 域や家 庭にお ける健 全育成 の支援	58	青少年相談事業 の充実	・家庭相談員と関係機関との連携の 強化	相談員数 2人	1人	0人	1人	2人	2人	基準値の水準を維持	◎	継続		教育センター		
	59	健全育成に関す る啓発	・青少年の健全育成に関する啓発 紙の配布	9月と3月の2回 全戸配布	1回	1回	1回	1回	1回	3月に全戸配布した。	基準値の水準を維持	△	継続		生涯学習課	

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
エ 児童 の健全 育成	(ウ)地 域や家 庭にお ける健 全育成 の支援	60	街頭指導活動の 充実	・街頭指導活動等による問題行動 の早期発見及び未然防止	実施回数 103回	82回	86回	86回	83回	各学区の青少年街頭 指導委員により実施し た。	活動を継続	◎	継続		生涯学習課
		61	有害図書立入調 査の実施	・自動販売機、コンビニエンスストア 等の立入調査	市内に有害図書類自 動販売機はなくなりま したが、設置されない よう活動は行う。	1回	1回	1回	1回	安城市内の調査を実施 した。	活動を継続	◎	継続		生涯学習課
		62	青少年街頭指導 委員研修会の開 催	・関係機関と連携を図った研修会の 開催	開催回数 青少年街頭指導委員 研修会 1回	1回	1回	1回	1回	青少年街頭指導委員 研修会を開催した。	基準値の水準を維持	◎	継続		生涯学習課
		63	社会を明るくする 運動の充実	・更正保護活動の啓発を行うための 街頭キャンペーンや標語作文コン クール、講演会の開催	開催回数 街頭キャンペーン 1回 標語作文コンクール 1回 講演会 1回	1回 1回 1回	1回 1回 1回	1回 1回 1回	7/1市内各所で街頭啓発 標語3,582点、作文208点 の応募あり 8/7講演会開催	基準値の水準を維持	◎	継続	事業を継続する	社会福祉課	
		64	地域ぐるみ青少 年健全育成活動 の充実	・青少年健全育成会や育成協議 会、育成連絡協議会による活動	育成会 36団体 協議会 9団体	36団体 9団体	36団体 9団体	36団体 9団体	36団体 9団体	各学区青少年健全育 成会等で活動した。	活動を継続	◎	継続	子どもの登下校中の事 件、事故を未然に防ぐた めの調査研究をする。	生涯学習課
		65	地域のおじさん・ おばさん運動の 推進	・地域の子どもは地域で守り育てる 運動	小学校 21校 登録会員 1,074人	21校 1,082人	21校 1,074人	21校 1,083人	21校 1,083人	地域のおじさん・おば さん運動として実施した。 登録会員1,083人	活動を継続	◎	見直し・ 改善	多くの役割が重複するた め見直しが必要	生涯学習課
		66	青少年環境浄化 活動の充実	・ポイボックスの設置による有害図 書類の追放	実施箇所数 2箇所 (JR安城駅南口、青少 年の家東側)	1箇所 (青少年の家 東側)	1箇所 (青少年の家 東側)	1箇所 (青少年の家 東側)	1箇所 (青少年の家 東側)	青少年の家東側に有 害図書追放箱(ポイボッ クス)を設置し、有害図 書類を回収した。	基準値の水準を維持	△	継続		生涯学習課
		67	「家庭の日」の充 実	・ポスターの募集や青少年の家の 体育室の無料開放	ポスター応募 82件 体育室利用者数 451人	33件 298人	73件 294人	74件 214人	131件 203人	家庭の日啓発ポスター の募集と青少年の家体 育室を第3日曜日に開 放した。	実施を継続	◎	見直し・ 改善	ポスター廃止	生涯学習課

基本方針(2) 母性並びに乳児及び幼児などの健康の確保及び増進

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 子ども や母親の健康の確保	(ア)安全快適な妊娠・出産の確保	68	母子健康手帳の交付と妊産婦指導の推進	・妊娠・出産・育児までの一貫した健康状態などを記録する母子健康手帳の交付及び保健サービスの情報提供と妊産婦指導	妊産婦健康相談件数 3,000件	2,315件	2,362件	2,193件	2,168件	母子健康手帳交付時 1,990件 その他の面接、電話 178件	基準値の水準を維持	△	継続	子どもを産み育てることに喜びを感じられるよう夫婦協力して子育てできるよう進めていく。	健康推進課 (保健センター)
		69	妊婦健康診査の推進	・妊婦を対象とした医療機関における健康診査	妊娠11週までの妊娠届出率 56.7%	94.8%	93.9%	95.3%	95.1%	受診票交付数 30,849件 受診数 24,497件	妊娠11週までの妊娠届出率 70%	◎	継続	母子健康手帳の早期届出と妊婦健診の重要性を周知していく。	健康推進課 (保健センター)
		70	マタニティ歯科健康診査の推進	・妊産婦を対象とした歯科健康診査	受診率 6.2%	6.7%	6.10%	37.40%	36.70%	妊婦歯科健診受診者数 765人	受診率 7.3%	◎	継続	妊婦を対象に、歯科医院にて個別にて実施。受診を促していく。	健康推進課 (保健センター)
		71	パパママ教室の推進	・妊婦とその夫を対象とした妊娠・出産・育児等に関する講義や実習	父親学級 18回628人 うち日曜日開催12回 母親学級 12回134人	784人	679人	925人	956人	パパママ応援教室 487人 体験しよう！親視立て教室 400人 マタニティクッキング 69人	参加者数 1,040人	○	継続	父親が参加しやすいように休日も開催し、父親の育児協力への意識啓発を進めるとともに、母親の育児不安や負担の軽減を図る。	健康推進課 (保健センター)
		72	マタニティサロンの開催	・妊婦同士が気軽に話し合える場の提供と相談や指導	マタニティサロン 12回 101人	137人	354人	470人	441人	開催回数 35回 参加人数 441人	参加者数 240人	◎	継続	より気軽に参加し、友だち作りや不安の軽減ができるようにしていく。 単独実施ではなく事業と併せて実施していく。	健康推進課 (保健センター)
	(イ)乳幼児の健康の保持増進	73	乳児健康診査の推進	・1歳未満児を対象とした医療機関における健康診査	平成15年度 受診率 77.3%	71.0%	72.2%	76.8%	77.2%	受診票交付数 4,737件 受診数 3,655件	基準値の水準を維持	△	継続	乳児健診の重要性を周知していく。	健康推進課 (保健センター)
		74	4か月児健康診査の推進	・4か月の乳児を対象とした集団健康診査	受診率 95.3%	97.6%	98.9%	98.7%	98.4%	対象者数 1,952人 受診者数 1,920人	受診率 97.3%	◎	継続	子どもの健全な成長発達を、保護者と確認するとともに、発達の支援をしていく。また、育児不安の軽減に努めていく。	健康推進課 (保健センター)
		75	1歳6か月児健康診査の推進	・1歳6か月以上の幼児を対象とした集団健康診査	受診率 95.4%	98.1%	98.9%	98.5%	98.6%	対象者数 1,970人 受診者数 1,942人	受診率 97.1%	◎	継続	未受診の状況把握に努めていく。	健康推進課 (保健センター)
		76	3歳児健康診査の推進	・3歳以上の幼児を対象とした集団健康診査	受診率 92.0%	96.7%	97.9%	99.0%	97.7%	対象者数 1,982人 受診者数 1,936人	受診率 95.6%	◎	継続		健康推進課 (保健センター)
		77	1歳6か月児健診事後指導会の開催	・1歳6か月児健康診査において要観察とされた幼児とその親を対象とした指導や相談	開催回数 24回 参加者数 延425人	24回	24回	24回	24回	開催回数 24回 参加者数 延491人	基準値の水準を維持	◎	継続	集団指導で発達や育児について支援し、必要な親子には療育参加を勧める。	健康推進課 (保健センター)
		78	予防接種の推進	・「予防接種法」に基づく予防接種	接種率 三種混合 82.3% ポリオ 80.6% 麻しん風しん 89.2%	三種混合 93.2% ポリオ 95% 麻しん風しん 90%	三種混合 97.2% ポリオ 78.6% 麻しん風しん 90.1%	三種混合 91.6% ポリオ(生ワクチン) 55.1% 麻しん風しん 91.3%	四種混合 86.5% 麻しん風しん 92.4%	四種混合 対象者数 7,089人 接種者数 6,135人 接種率 86.5% 麻しん風しん 対象者数 4,114人 接種者数 3,802人 接種率 92.4%	接種率 四種混合 87% 麻しん風しん 95%	○	継続	未接種者に対し、接種勧奨を引き続き実施していく。	健康推進課 (保健センター)

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課	
ア 子どもや母親の健康の確保	(ウ)子育て環境の整備	79	育児相談の推進	・乳幼児とその親を対象とした電話や面談による子育て健康相談	スクスク子育て相談室 (面談) 1,291件	1,373件	1,244件	1,368件	1,307件	24回 1,307件	1,260件	◎	継続	育児不安やストレスの軽減を図っていく。	健康推進課 (保健センター)	
		80	乳幼児など訪問指導の推進	・育児支援や保健指導が必要と思われる乳幼児やその親を対象とした訪問指導	訪問指導件数 444件 妊産婦等 212件 乳幼児 232件	H21年度より赤ちゃん全戸訪問スタート 訪問件数 2,298件 妊産婦等 2,107件 乳幼児 191件	訪問件数 2,474件 妊産婦等 2,207件 乳幼児 267件	訪問件数 2,607件 妊産婦等 2,225件 乳幼児 382件	訪問件数 2,382件 妊産婦等 2,046件 乳幼児 319件	訪問件数 2,382件 妊産婦等 2,046件 乳幼児 319件	基準値の水準を維持	◎	継続	健診事後指導等の支援の必要な人(児)への訪問を継続して実施していく。	健康推進課 (保健センター)	
		81	事故防止の啓発	・発達段階にあわせた事故防止情報の提供や啓発	事故防止指導割合 95.3% (4か月児健診時集団指導)	97.6%	98.9%	98.7%	98.4%	4か月児健診時の集団指導やDVD上映、保健センター内掲示等により実施。また、事故予防啓発チラシを1歳6か月時・3歳児健診対象者に送付。広報にも掲載。体験しよう!親育て教室にて事故予防ハウス等展示とDVD上映。	事故防止指導割合 97.3%	◎	継続	各健診や教育等の機会を利用し、継続実施していく。	健康推進課 (保健センター)	
		82	赤ちゃんサロンの開催	・親同士の交流を図ることにより仲間づくりと子育て不安の軽減	赤ちゃんサロン 12回 706人	402人	269人	481人	578人	12回 578人	基準値の水準を維持	△	継続	育児不安の軽減や友だち作りを進め、気軽に参加できるようにしていく。 子育て支援センターや児童センターの実施内容等と合わせ、今後の継続開催について検討。	健康推進課 (保健センター)	
		83	にこにこランド事業の推進(再掲)	(再掲14)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
		84	おかあさんのための絵本講座の開催(再掲)	(再掲147)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	中央図書館
		85	乳幼児の読書推進事業の推進(再掲)	(再掲149)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	中央図書館
		86	託児つき講座の開催(再掲)	(再掲153)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	各所管課 生涯学習課 市民協働課
イ 食育の推進		87	親子栄養スクールの開催	・適切な食習慣を確立させるために幼児とその保護者を対象とした食育指導	開催回数 6回 参加者数 136人	8回	3歳の栄養教室に名称変更(対象3歳児) 8回	7回	8回	8回 84人	開催回数 8回	◎	継続	3歳児の食育を推進していく。	健康推進課 (保健センター)	
		88	パパママ教室(クッキング)の開催	・妊婦やその家族を対象とした栄養に関する講義や実習の開催	マタニティクッキング 開催回数 12回 参加率 5.0%	3.6%	2.8%	3.5%	3.2%	11回 66人 参加率 3.2%	参加率 5.7%	△	見直し・改善	妊産婦の栄養、特に貧血予防に主点を置いた教室としていく。	健康推進課 (保健センター)	
		89	ゴックン教室(離乳食前期)の開催	・3～5か月までの乳児を持つ親を対象とした離乳食の進め方や調理のしかたを学ぶ	4～6か月児を対象 開催回数 24回 参加率 34.3%	32.3%	30.5%	30.1%	31.6%	24回 617人 受講率 31.6%	基準値の水準を維持	△	継続	離乳食の始め方等、具体的方法について周知していく。	健康推進課 (保健センター)	

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 食育 の推進	90	カミカミ教室(離乳食後期と歯の話)の開催	・7～9か月までの乳児を持つ親を対象とした離乳食の進め方や調理のしかたを学ぶ	7～11か月児を対象 開催回数 24回 参加率 25.8%	24.6%	26.3%	23.7%	25.7%	24回 502人 受講率 25.7%	参加率 25%	◎	継続	離乳食の進め方や生えてきた歯の手入れ等について、具体的方法を知らせていく。	健康推進課 (保健センター)
	91	食育指導の推進	・幼児及びその親などを対象とした児童センターや子育てサークルなどからの依頼に応じた食育の指導	実施回数 17回 参加者数 497人	17回	14回	16回	1回	1回 23人	実施回数 12回	△	充実	他課の栄養士と調整をしつつ実施していく。	健康推進課 (保健センター)
	92	子どもクッキングの開催	・食生活改善推進員による小学生を対象とした食生活への関心を高める調理実習の開催	お父さんと子どもの料理教室 2回 38人 子ども料理教室 2回 23人	4回	4回	4回	5回	お父さんと子どもの料理教室 2回 21人 子ども料理教室 3回 45人	基準値の水準を維持	◎	継続	継続して実施していく。	健康推進課 (保健センター)
	93	朝食メニューコンクール(新規)	・地産地消の更なる推進と、家庭や子どもの朝食に対する関心を高めるため、家庭・地域が連携した地元農産物を使用した朝食メニューコンクールを実施する。	参加作品 443品 参加人数 691人 ※平成20年～22年までの3か年の計画	1人1品で 小学校726品 中学校503品 の応募があった。	平成22年度 で終了	—	—	—	—	—	廃止	平成22年度で終了	給食課
					1,229品 1,229人	平成22年度 で終了	—	—	—	—	—	廃止	平成22年度で終了	農務課
	94	「食育」の推進 (一部新規)	・食育キャラバン隊を組織して、市内幼稚園・保育園を訪問し、紙芝居などにより食育の啓発を図る。	未実施	11回	5回	3回	8回	山崎町公民館、中心市街地交流広場、昭林公民館、でんまあと安城西部	実施回数 8回	◎	継続	市民団体等と協働で食育に関する取り組みを実施していく。	農務課
			・食育講演会の開催(新規)	未実施	0回	1回	平成23年度 で終了	—	—	平成21年度より 隔年開催	×	廃止	平成23年度で終了	農務課
			・給食を通して、栄養の知識や食の大切さの指導	食に関する指導の割合 55.1%	54.71%	58.53%	54.51%	53.05%	小中学校全クラス(541クラス)のうち、栄養教諭、学校栄養職員により287クラスに食に関する授業・給食指導を実施。	給食指導の割合 100%	△	継続	市内統一指導として、小1、3年、中1年全クラスに給食指導。また各校からの指導要望を受け担任と栄養教諭等による食育授業を実施。 毎月の献立表や6月にリーフレットなど活用し、市内全校児童生徒へ食に関する指導。	給食課
			・地産地消をテーマにした紙芝居による食育の実施	開催回数 2回	2回	7回	7回	10回	農業後継者確保対策事業2回、食育推進事業8回	開催回数 4回	◎	継続	「食」に関する知識を提供し、健全な食生活を実践することができるよう普及活動をしていく。	農務課
ウ 思 春期保 健対策 の推進	95	思春期健康教育の推進	・思春期の健康問題についての正しい知識の啓発や普及	開催回数 9回 参加者数 1,249人	10回	9回	18回	16件	健康教育 開催回数 18回 参加者数 1,395人 物品貸し出し 9件 性の絵本の貸し出し 24園	講師派遣回数 10回	◎	継続	児童生徒の「思春期の体と心の健康課題」に対し、専門職(保健師、助産師等)が授業や保健委員会などに参加協力していく。幼児期からの性教育への理解を得るため、性の絵本の貸し出し等を実施する。	健康推進課 (保健センター)

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 思 春期保 健対策 の推進		96	思春期保健相談 の推進	・思春期保健相談士による思春期 の健康に関する電話・メール相談	思春期保健相談士 係員 3人	係員 3人	係員 3人	係員 4人	係員 3人	思春期保健セミナーコース Ⅰ、Ⅱを1名受講	思春期保健相談士数 (係員) 5人	○	継続	思春期相談の充実のため認定された思春期保健 相談員の確保を図る。	健康推進課 (保健センター)
エ 小児 医療の 充実		97	子ども医療費助 成事業(新規)	・「安城市子ども医療費助成条例」 に基づく子ども(15歳に達した日以 後の最初の3月31日まで)を対象と した医療費を助成する。	平均受給者数 29,174人	29,460人	29,400人	29,369人	29,319人	受給者数 29,319人 (受給者証)	助成を継続	◎	充実	対象年齢を拡大。制度の 周知を図る	国保年金課
		98	休日夜間救急医 療体制の推進	・休日夜間急病診療所の運営(医 科:日曜・祝日・年末年始の昼間・夜 間、平日の夜間、土曜の夜間、歯 科:日曜・祝日・年末年始の昼間)	平成20年10月から休 日歯科診療を開始	継続	継続	継続	継続	開設日数 ①日曜・祝日 71日 ②土曜日 50日 ③平日 244日 受診者数 ①昼4,088人 夜1366人 ②1,058人 ③ 968人	基準値の水準を維持	◎	継続	平成22年4月から平日 夜間診療を開始。多くの 機会をとらえ市民へ周知 を図っていく。	健康推進課 (保健センター)
		99	かかりつけ医の 推進(新規)	・広報折込チラシ、幼・保育園の保 護者向けチラシを配布し、かかりつ け医の推進・適正な医療機関のか かり方を周知する。	未実施	92,400部	94,300部	97,540部	97,900部	広報9/1号折込み、医 科・歯科医院、市民課 転入者用チラシ配布 71,600部 12月に幼・保育園、小 中学校保護者へチラシ 配布25,940部	配布部数 71,000部	◎	継続	平成21年度から広報折 込チラシ、幼・保育園の 保護者向けチラシを配付 し、平成22年度からは小・ 中学校の保護者も加えて 配付し、かかりつけ医の 推進・適正な医療機関の かかり方を周知し小児救 急医療の確保を図る。	健康推進課 (保健センター)

基本方針(3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 次代 の親の 育成	(ア)異 年齢交 流の推 進	100	赤ちゃん出会い・ ふれあい交流事 業の推進	・小・中学生を対象とした赤ちゃん講 座を開催し、乳幼児の理解を深める とともに、小・中学生と乳幼児がふ れあう事業	実施箇所数 4児童センター	7児童センター	7児童センター	7児童センター	8児童センター	参加延べ人数 中学生 74人 小学生 215人 乳幼児397人 保護者376人	実施箇所数 7児童センター	◎	継続	児童の健全育成を進める とともに、将来の予備体 験としながら育児不安や 虐待予防を図る。	子育て支援課
		101	ボランティア体験 学習の充実	・中学生が体験学習として保育園や 幼稚園で保育を体験	実施箇所数 8校	中学校 8校	中学校 8校	中学校 8校	中学校 8校	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
				・中高生が体験学習として各種障害 者等の施設でボランティア活動を体 験	参加者数 159人	194人	130人	98人	133人	平成25年7月～8月に かけて市内30施設で中 高生ボラ体験を実施	実施を継続	◎	継続	次世代ボランティアを 育成	社会福祉協議会
				・子育て支援センター事業として中 高校生ボランティアが保育を体験	参加者数 中学生 5人 高校生 2人	中学生 5人	0人	0人	0人	希望が少ないため 未実施	実施を継続	×	見直し・ 改善	今後も継続していくか、検 討	子育て支援課
	102	地域活動事業の 充実(再掲)	(再掲28、141)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課	
	(イ)世 代間交 流の推 進	103	高齢者との世代 間交流の充実	・保育園や幼稚園における高齢者との 伝承遊びなどを通じた世代間交 流事業	実施箇所数 保育園 31箇所 幼稚園 4箇所	全保育園 継続 公立幼稚園 継続	全保育園 継続 公立幼稚園 継続	全保育園 継続 公立幼稚園 継続	全保育園 継続 公立幼稚園 継続	全保育園 35箇所 公立幼稚園 4箇所 で実施	基準値の水準を維持	◎	継続	高齢者との交流を積極的 に提供し、異世代への共 感能力や思いやりの気持 ちを育て、人間性・社会 性の向上を図る。	子ども課
		104	高齢者と子ども の交流イベント の開催	・老人クラブなどとの連携による世 代間交流事業	単位老人クラブ114団体 福祉まつりでこども たちにたこづくりとコマ づくりを教えた。 参加団体 33団体	109クラブ	104クラブ (市内 全老人クラブ)	104クラブ (市内 全老人クラブ)	102クラブ (市内 全老人クラブ)	福祉まつりでこどもたち と、たこやコマを作成。 市老人クラブ連合会と して活動(参加団体102 クラブ)。	事業を継続	◎	継続	福祉まつりなどのイベント を通じて世代間交流をし ていく。 地域の活動についても前 期同様に推進していただ くようPRしていく。	社会福祉課
		105	町内ふれあい交 流活動の支援 (再掲)	(再掲36)	—	—	—	—	—	—	—	—		社会福祉協議会	
	(ウ)社 会活動 の支援	106	青少年の家にお ける自主活動の 支援	・青少年の家を拠点とした自主的な 活動の支援	青少年の家登録数 団体数 90団体	71団体	75団体	62団体	68団体	青少年の家の登録団 体として青少年団体を 登録した。	支援を継続	◎	継続	土曜、日曜日や平日夜間 の青少年の利用促進を 図る。	生涯学習課
		107	青少年の家の充 実	・青少年育成の拠点施設(青少年の 家)の充実	実施箇所数 1箇所 利用者数 58,670人	1箇所 58,478人	1箇所 56,212人	1箇所 70,089人	1箇所 59,290人	青少年の家の玄関前 の掲示場を整備し、活 用した。	基準値の水準を維持	◎	継続	平日の昼間など青少年 が利用しない時間帯の利 用促進を図る。	生涯学習課
		108	職場体験の充実	・中学校期における様々な職場での 体験活動の推進と「職業」や「仕事」 に対する意識の啓発	実施箇所数 中学校 8校	中学校 8校	中学校 8校	中学校 8校	中学校 8校	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		109	子ども議会の開 催	・子ども(中学生)が未来に向けて夢 や提言をすることにより市政への参 加と理解を促進(5年に一度)	5年ごとに実施 (平成19年度実施)	なし	なし	前回実績の H19年度から5 年目にあたる H24年度に実 施することがで きた。	なし	なし	事業を継続	—	継続	5年ごとに実施 (平成29年度実施予定)	議事課

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 次代 の親の 育成	(ウ)社 会活動 の支援	110	就業のための講習会の開催	・社会生活における各分野での能力発揮を図る講習会の開催に協力し、広報などにより周知	実施回数 5回	5回	5回	7回	7回	市広報、ホームページの掲載又はチラシ等の配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
		111	新就職者研修講座の開催協力	・学校を卒業し、社会に出たときに必要な様々な知識が学べる講座の開催に協力し、広報などにより周知	実施回数 3回	2回	2回	2回	3回	市広報、ホームページの掲載又はチラシ等の配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
		112	創業支援体制の整備協力	・起業者育成研修の開催に協力し、広報などにより周知	参加希望がなかったため未実施	0回	1回	1回	1回	セミナーの開催	協力の継続	◎	継続	協力の継続	商工課
		113	JAあいち中央結婚情報センターとの連携	・男女の出会いや交流の場の創造支援	結婚成立件数 5件 新規登録者 98人 相談者数 1,146人 見合い紹介件数 108件	結婚成立件数 3件	結婚成立件数 4件	結婚成立件数 2件	結婚成立件数 2件	新規登録者 56名 相談件数 883件 見合い紹介件数 66組	支援を継続	◎	継続	後継者発掘のためにも本事業の推進は必要である。	農務課
イ 子 どもの生 きる力 の育成 に向けた 学校の教育 環境など の整備	(ア)確 かな学 力の向 上	114	基礎を理解する指導計画の改善・充実	・基礎・基本の確実な定着のための指導方法の工夫・改善と評価基準の見直し	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		115	個に応じた多様な指導方法の充実	・習熟度別学習や少人数指導、 ティーム・ティーチング(TT)などの積極的な取入れと個に応じたきめ細かな指導	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		116	学級を基盤としたきめ細かな指導の充実	・1クラス30人程度の少人数学級	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		117	外国語指導助手(AET・ALT)の活用	・外国語指導助手(AET・ALT)の全小学校への派遣	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		118	通訳活用事業の充実	・外国籍児童を対象とした学校生活全般のポルトガル語やタガログ語の通訳によるサポート	通訳者数 5人 うちタガログ語通訳 1人	通訳者数6人 うちタガログ語通訳 2人	通訳者数6人 うちタガログ語通訳 2人	通訳者数6人 うちタガログ語通訳 2人	通訳者数6人 うちタガログ語通訳 2人	通訳者数 8人	通訳者数 8人	○	継続		学校教育課
		119	外部人材の活用	・小中学校の活性化を図るため外部人材(スクールボランティア、ゲストティーチャー)の積極的な活用	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
	(イ)豊 かな心 の育成	120	道徳教育の時間の確保	・年間35時間の道徳の時間の確保や心のノートの効果的活用	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		121	社会人活用事業の実施	・地域の人材や素材などの授業への活用と地域との交流を推進する事業	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性			担当課
イ 子ども の生きる力 の育成に 向けた学 校の教育 環境など の整備	(イ)豊かな 心の育成	122	教育相談体制の 充実	・来所による定期的な個別の面接 相談の実施	家庭教育相談員 3人 臨床心理相談員 5人 月～金曜日まで実施	4名 6名	4名 6名	6名 5名	6名 5名	家庭相談員 6名 臨床心理相談員 5名	基準値の水準を維持	◎	継続		教育センター
				・電話による相談の実施	相談員数 3人 電話専任1名 ふれあい学級指導員 2名が対応	3人 1名 2名	3人 1名 2名	3人 1名 4名	1人 1名 2名	相談員数 1人 電話専任1名、 ふれあい学級指導員2 名が対応	基準値の水準を維持	△	継続		教育センター
				・学校相談員を活用した学校との情 報交換	相談員数 1人 要請のあった小中 学校、幼・保育園を訪問	4人	4人	5人	4人	家庭相談員数 4人	基準値の水準を維持	◎	継続		教育センター
				・適応指導教室「ふれあい学級」に おける支援事業	家庭教育相談員 2人 ふれあい学級指導補助員 1人	2人 1人	2人 1人	4人 1人	4人 1人	家庭相談員 4人 ふれあい学級指導補助員 1人	基準値の水準を維持	◎	継続		教育センター
				・不登校児童や生徒の家庭への指 導員の定期的な訪問	ふれあい学級指導補助員 1人	1人	1人	1人	1人	ふれあい学級指導補助員 1人	基準値の水準を維持	◎	継続		教育センター
				・スクールカウンセラーの活用(中 学校)	スクールカウンセラー 10人 全中学校と小学校2拠 点校で実施	13人	13人	13人	13人	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		123	安城市小中学校 ふれあいネット事 業の充実	・学校と家庭や地域の連携のもと に、児童や生徒に関わる今日的な 問題に対する活動(講演会や研修 会など)の実施	開催回数 3回 ふれあい講演会1回 情報交換会 2回	開催回数 3回	開催回数 3回	開催回数 3回	開催回数 3回	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		124	多様な体験活動 の機会の充実	・子どもを対象とした野外センターに おける自然教室の開催	小学校 21校 (3泊4日) 中学校 8校 (4泊5日)	小学校 21校 (3泊4日) 中学校 8校 (4泊5日)	小学校 21校 (3泊4日) 中学校 8校 (4泊5日)	小学校 21校 (3泊4日) 中学校 8校 (4泊5日)	小学校 21校 (3泊4日) 中学校 8校 (4泊5日)	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
				・子どもを対象とした農業体験事業 の実施	開催回数 9回	24回	21回	34回	40回	アグリライフ支援セン ターの体験・スポーツ講 座(5講座7回325人)。 市民団体による田植 え、稲刈り体験、じゃが いも・さつまいもの植 付、収穫体験等。	開催回数 10回	◎	継続	現在の事業を維持しつ つ、新たな体験の場を設 ける。	農務課
				・子どもを対象とした水生生物教室 の開催	開催回数 1回 東部公民館との共同 事業	1回	1回	1回	1回	安祥公民館と共同で開 催 わくわくネイチャース クールおして榎前町の 水田魚道にて開催。	開催回数 1回	◎	廃止	水生生物教室は、環境ア ドバイザー、環境協働事 業で実施しているため廃 止しても良い。	環境首都推進課
				・小学校4年生を対象とした清掃処 理施設(リサイクルプラザ・環境ク リーンセンター)の見学会の開催	開催回数 (全小学校) 各1回	全小学校21校 で23回に分け て実施 参加生徒数 2,077人	全小学校21校 で24回に分け て実施 参加生徒数 2,054人	全小学校21校 で24回に分け て実施 参加生徒数 2,066人	全小学校21校 で28回に分け て実施 参加生徒数 2,010人	5月から7月にかけて 施設見学とごみ減量ビ デオ等による説明を実 施	基準値の水準を維持	◎	継続		ごみゼロ推進課
				・小学校4年生を対象とした浄水場 施設見学会の開催	参加者数 663人、8校	参加者数 197人、2校	参加者数 324人、4校	参加者数 259人、5校	参加者なし	25年度には学校単位で の見学申し込みがあり ませんでした。	基準値の水準を維持	×	継続	施設見学及び出前講座 の学校へのPR方法を見 直し、施設見学者の拡大 と、出前講座の利用促進 を図る。	水道工務課
				・子どもを対象とした博物館体験講 座や市民ギャラリー美術講座、埋蔵 文化財講座の開催	博物館体験講座 参加者数 1,677人	572人	1,644人	2,906人	821人	例年の内容に加え、新 美南吉関連の講座を追 加した。	開催を継続	◎	継続	子どもを対象とする講座 を充実させていく。	文化財課
					埋蔵文化財講座 開催回数 4回	4回	5回	4回	4回	子ども考古講座を開催 するとともに出前講座 や安祥文化のさとまつ りでの体験コーナーな ど実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	各種講座等を引き続き実 施していくとともにさま ざまな機会を通じて歴史 好きな子どもを積極的に 支援していく。	文化財課
					ギャラリー美術講座 参加者数 104人	103人	124人	103人	70人	小学生を対象にした芸 術創造講座を開催した	開催を継続	◎	継続	今後も内容を工夫しなが ら継続開催	生涯学習課

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境などの整備	(イ)豊かな心の育成	125	ボランティア体験学習の充実(再掲)	(再掲101)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	学校教育課 社会福祉協議会
		126	職場体験の充実(再掲)	(再掲108)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	学校教育課
		127	国際交流事業の推進(一部新規)	・中学生の国際的視野を広げるため、姉妹都市(米国ハンチントンビーチ市、豪州ホブソンズベイ市)への派遣や受入	派遣人数 10人 受入人数 10人	10人 10人	10人 9人	10人 10人	10人 10人	計画通り実施	基準値の水準を維持	◎	継続		市民協働課 国際交流協会
				・地域に住む外国人が生活に必要な情報を取得するための外国語表記の生活ガイドブックの作成	作成部数 0部 ※在庫があったため、増刷なし	実施 (英語版更新)	実施 (タガログ語版作成)	実施 (ポルトガル語版作成)	実施 (中国語版作成)	中国語版の作成 (1,000部)	作成を継続	◎	継続		市民協働課
				・地域に住む外国人が生活に必要な日本語を習得するための日本語教室の開催	大人:開催回数 2回 (全10回講座)	2回 (全10回講座)	2回 (全10回講座)	2回 (全10回講座)	2回 (全10回講座)	参加者 春期教室 44人 秋期教室 61人	開催を継続	◎	継続		市民協働課
					子ども:開催回数 0回	1回 (全5回)	2回 (全5回・全8回講座)	4回 (春6回・夏6回・モデル10回・冬6回講座)	4回 (春8回・夏6回・モデル1回・冬7回講座)	参加者 春期教室 7人 夏休み教室 15人 モデル事業 5人 冬休み教室 5人	開催回数 2回	◎	継続	教室の内容を見直し、ニーズに合った日本語学習支援を実施する。	市民協働課
					1回(通年)	1回 (通年)	1回 (通年)	1回 (通年)	1回 (通年)	延べ349人	基準値の水準を維持	◎	継続		国際交流協会
				・小中学校の総合学習・外国語活動における地域の外国人との交流	ALT派遣により全校で実施	全校で実施	全校で実施	全校で実施	全校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
	(ウ)健全な体の育成	128	環境アドバイザーの活用	・小中学校の総合学習における環境アドバイザーの活用	開催回数 22回	99回	78回	51回	87回	小学校の総合学習、クリーンバスでアドバイザーを活用した。	派遣回数 50回 (小学校15、中学校5、保育園5、クリーンバス25)	◎	継続		環境首都推進課
		129	体育授業の充実	・指導計画の作成及び指導方法の工夫	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		130	健康教育(保健)の充実	・関係機関・団体との連携などにより中学校での薬物乱用防止教育・指導	全中学校で実施	全中学校で実施	全中学校で実施	全中学校で実施	全中学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課
		131	歯科保健対策の推進	・中学生以下の児童・生徒を対象とした歯科保健に関する意識の啓発 むし歯のある児童・生徒の割合＝ (未処理歯のある者)÷(処置完了者) 全児童又は生徒数×100	保育園 37.9% 幼稚園 28.7% 小学校 57.4% 中学校 56.5%	38.8% 23.7% 54.1% 52.7%	34.2 % 20.3 % 52.6 % 49.8 %	34.8 % 18.5 % 51.1 % 40.2 %	31.3 % 18.8 % 49.4 % 39.1 %	全保育園・幼稚園・小中学校で実施	保育園 36.9% 幼稚園 26.7% 小学校 52.4% 中学校 51.5%	◎	継続	さらに啓発を進めていく。	子ども課 学校教育課
		132	小児生活習慣病予防健康診断事業の推進	・肥満などにより指導が必要な児童を対象とした生活習慣病予防のための保健指導 肥満度(%) ＝実測体重(kg)－標準体重(kg)÷標準体重(kg)×100	肥満度(%)が、 ＋20%以上 小学生 7.9% 中学生 10.3%	小学生7. 2% 中学生8. 0%	小学生6.9% 中学生8.7%	小学生6.9% 中学生8.5%	小学生6.7% 中学生8.5%	基準値の水準を維持	肥満傾向被患者率 小学生 6.9% 中学生 9.3%	◎	継続		学校教育課

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 子 ど も の 生 き る 力 の 育 成 に 向 け た 学 校 の 教 育 環 境 な ど の 整 備	(エ)信 頼され る学校 づくり	133	開かれた学校づ くり	・学校評議委員制度の活用	実施箇所数 幼稚園 4園 小学校 21校 中学校 8校	実施箇所数 4園 21校 8校	実施箇所数 4園 21校 8校	実施箇所数 4園 21校 8校	実施箇所数 4園 21校 8校	全幼稚園、小中学校で 実施	基準値の水準を維持	◎	継続		子ども課 学校教育課
		134	教育講演会の開 催	・一般市民や教職員を対象とした子 育て支援、特別支援教育、不登校 への支援等の講演会の開催	開催回数 1回 東部公民館との共同 事業	1回	1回	1回	1回	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続		学校教育課 教育センター
		135	学校など施設の 整備	・幼稚園や小中学校の施設の整備	幼稚園 遊具の更新 小学校 校舎耐震補強 4 校、フェンス設置工事 6校、校内LAN整備 7 校 中学校 安城南中校舎北棟 改築、安城西中格技 棟・技術科棟改築、校 舎耐震補強 2校、屋 内運動場耐震補強 3 校	小学校 校舎増築 1 校、屋内運動 場耐震補強 8 校、フェンス設 置 3校、太陽 光発電設備設 置 2校 中学校 格技棟改築 1校、屋内運 動場耐震補強 3校	小学校 校舎ガラス飛 散防止フィルム設 置14校、屋内 運動場ガラス飛 散防止フィルム設 置6校、太陽 光発電設備設 置9校、校舎ト イレ改修1校	小学校 校舎ガラス飛 散防止フィルム設 置6校、太陽 光発電設備設 置3校、校舎ト イレ改修1校、 普通教室等扇 風機設置21校 中学校 校舎トイレ改 修1校、太陽 光発電設備設 置5校	小学校 校舎中規模改修1校 (安城西部小)、 校舎トイレ改修4校(高棚 小、明和小、志貴小、 作野小) 中学校 校舎トイレ改修1校(東 山中)、 太陽光発電設備設置5 校(安城北中、明祥中、 桜井中、東山中、安祥 中)	整備を継続	◎	継続		子育て支援課 教育委員会総務 課	
		136	安城市小中学校 PTA連絡協議会 への支援	・活動への補助及び行事への協力	家庭教育講演会 実施回数 1回	1回	1回	1回	1回	会の運営を支援した	支援を継続	◎	継続		生涯学習課
		137	保育園、幼稚園 と小学校の連携	・保育園や幼稚園から小学校への 円滑な移行のための連携強化	幼保小連携会議 開催回数 4回 中間報告書を作成	継続	継続	継続	継続	幼保小連携会議を3回 開催	基準値の水準を維持	△	継続	今後も子育て支援の保育 事業として、継続実施し ていく。	子ども課 学校教育課
		(オ)幼 児教育 の充実	138	市立幼稚園授業 料の減免	・「安城市立幼稚園授業料徴収に関 する条例」に基づく授業料の減免	減免実施園児 19人	継続	継続	継続	継続	減免実施園児17人	制度を継続	◎	継続	
	139		就園奨励費補助 金の交付	・私立幼稚園に就園する満3～5歳 児の保護者を対象とした就園奨励 費補助金の交付	受給者数 2,330人 対象 幼稚園 30園 (市内 9園、市外 21園)	継続	継続	継続	継続	受給者数 2,307人 対象 幼稚園 33園 (市内9園、市外24園)	基準値の水準を維持	◎	継続	平成23年度からは第3子 以降無料化事業も併せて 実施していく。	子ども課
	140		障害児保育事業 の充実	・幼稚園において軽・中程度の集団 保育が可能な障害児を受け入れる 事業	実施箇所数 4園	継続	継続	継続	継続	4園で実施	基準値の水準を維持	◎	継続	教育センター等の機関と の連携の維持・強化	子ども課
	141		幼稚園地域活動 事業の充実	・幼稚園の有する専門機能を活用し た世代間交流や異年齢児交流等の 事業	実施箇所数 4園	継続	継続	継続	継続	4園で実施	基準値の水準を維持	◎	継続	交流の充実を図っていく。	子ども課
	142		幼稚園における 預かり保育の検 討(再掲)	(再掲10、200)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 家庭や地域の教育力の向上	(ア)家庭教育への支援の充実	143	子育て・家庭教育に関する学習機会の充実	・公民館等における幼稚園、小学校などと連携した子育て支援や家庭教育に関する講座や教室の開催	公民館講座、乳幼児学級、家庭教育学級を実施	実施	実施	実施	実施	各地区公民館で乳幼児学級または家庭教育学級を開催。計10クラス。	開催を継続	◎	継続		生涯学習課
		144	絵本の読み聞かせの推進	・未経験者を対象とした読み聞かせボランティア養成講座の開催	開催回数 1回 (全5回) 参加者数 20人	中部公民館 1回 (全8回) 参加者数 19人	桜井公民館 1回 (全9回) 参加者数 24人	中央図書館 1回 (全8回) 参加者数 28人	中央図書館 1回 (全8回) 参加者数 12人 既存グループへ4人入会	公民館拠点の読み聞かせボランティアを未設の昭林公民館で養成講座を開催、し読み聞かせボランティアグループ「昭林おはなしなあに」(会員7人)が創設された。	開催回数 1回 (全8回) 参加者数 20人	△	見直し・改善	公民館拠点の読み聞かせボランティアグループは全て設立した。今後は既存グループの会員の補充を目的とした講座を開催する。	中央図書館
				・経験者を対象とした読み聞かせボランティア研修の開催	開催回数 3回 (全6回) 参加者数 93人	開催回数 全4回 参加者数 のべ90人	開催回数 全4回 参加者数 のべ107人	未実施	開催回数 全4回 参加者数 のべ66人	「読み」の実技指導講座を開催した。	開催回数 3回 (全5回) 参加者数 150人	△	見直し・改善	新たな試みとして、絵本作家の講演会やワークショップも検討する。	中央図書館
				・学校などで読み聞かせをしているボランティアグループの育成と研修	参加校数 4校 参加人数 68人	5校 のべ110人	11校 のべ87人	19校 のべ146人	11校 のべ99人	9小学校、2幼稚園に読み聞かせの入門講座、実技指導、本の補修講座を実施した。	参加校 10校 参加人数 150人	○	継続		中央図書館
				・ボランティア養成講座などの修了生による読み聞かせボランティアグループの育成と組織化の推進	登録数 10グループ 113人	13グループ 146人	14グループ 158人	15グループ 189人	16グループ 192人	公民館拠点の読み聞かせボランティアを未設の昭林公民館で養成講座を開催、し読み聞かせボランティアグループ「昭林おはなしなあに」(会員7人)が創設された。中央図書館でも既存グループの会員補充の目的で講座(全8回)を開催し、4人が入会した。	登録数 16グループ	◎	見直し・改善	公民館拠点の読み聞かせボランティアグループは全て設立した。今後は既存グループの会員の補充を目的とした講座を開催する。	中央図書館
				・出前おはなし会、子育てサークルなどでの読み聞かせの充実	開催回数 144回 参加者数 4,380人	119回 3,503人	450回 のべ9,839人	486回 のべ13,137人	457回 のべ12,859人	H23より市内全幼稚園・保育園に職員、ボランティアで定期的に出前おはなし会を行った。(のべ438回11,511人)また、保健センターの赤ちゃんサロン等へ19回行った。	開催回数 150回	◎	継続		中央図書館
				・絵本とわらべうたの会など図書館での読み聞かせの充実	開催回数 131回 参加者数 3,477人	146回 4,256人	141回 3,710人	132回 3,391人	130回 3,148人	ボランティアによる定例おはなし会で106回2,204人参加。職員による定例おはなし会で24回944人参加した。	開催回数 140回	△	継続		中央図書館
		145	図書の団体貸出の推進	・小中学校、幼稚園、保育園、児童クラブなどへの図書の団体貸出	貸出数 262団体 51,374冊	291団体 58,905冊	271団体 61,713冊	266団体 63,529冊	271団体 57,266冊		基準値の水準を維持	◎	継続		中央図書館
		146	手作り紙芝居教室の開催	・幼児や児童を対象としたボランティア講師による紙芝居教室の開催	開催回数 1回(全3回) 参加者数 20人	1回(全3回) 17人 (のべ50人)	1回(全3回) 20人 (のべ54人)	1回(全3回) 19人 (のべ57人)	1回(全3回) 14人 (のべ41人)	幼児や児童を対象とした講座として「手作り紙芝居教室」を開催したほか、友の会と共催で絵本作家飯野和好の親子で楽しめる講演会を開催した。	基準値の水準を維持	△	継続		中央図書館
		147	おかあさんのための絵本講座の開催	・乳幼児の保護者を対象とした図書館司書による絵本講座の開催	開催回数 2回(各4回)	2回(各4回) 15人 (のべ47人)	1回(全4回) 18人 (のべ60人)	1回(全4回) 14人 (のべ43人)	1回(全4回) 3人 (のべ10人)	前年度と同様の講座を開催したが、参加者数が少なかった。	開催回数 3回	△	見直し・改善	PRを増強し、講座タイトル、内容も新しくする方向で考える。	中央図書館

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 家 庭や地 域の教 育力の 向上	(ア)家 庭教育 への支 援の充 実	148	ブックスタート事業(新規)	・ブックスタート事業の実施(0歳児に絵本の読み聞かせの習慣をつけ、親子のふれあいを深めるため、4か月児健診などで読み聞かせの実演後、読み聞かせに適した絵本2冊などを手渡し、図書館利用のきっかけづくりを行う。)	未実施	H25実施予定で、H23から準備開始	「新美南吉絵本大賞」を創設	全国公募実施と大賞作品の決定と編集	H25.8.7より実施 開催回数 32回 実施者数 1,222人 実施率 95%	H25.8.7より実施 保健センターの4か月児健診終了後にボランティアとともに実施。南吉絵本『二ひきのかえる』と赤ちゃん絵本1冊、南吉バッグを配布 開催回数 32回 実施者数 1,222人 実施率 95%	本格実施	◎	継続	ブックスタートの効果の検証のためのアンケートを実施する。 ブックスタートボランティア補充のための講座を実施する。	中央図書館
		149	乳幼児の読書推進事業の推進	・4か月児健康診査時に乳幼児の保護者を対象とした乳幼児向けの絵本を貸し出す事業(赤ちゃん絵本かしだし隊) ・毎週金曜日の1歳半健診でも実施(21年度試行、22年度本格実施)	貸出日 毎週水曜日 貸出人数 320人 貸出冊数 1,122冊	貸出日 毎週水曜日(48回) 貸出人数 410人 貸出冊数 1,523冊	貸出日 毎週水曜日(48回) 貸出人数 346人 貸出冊数 1,261冊	貸出日 毎週水曜日(48回) 貸出人数 344人 貸出冊数 1,168冊	貸出日 毎週水曜日(49回) 貸出人数 307人 貸出冊数 1,146冊	ブックスタートと同一会場で継続実施 毎週水曜日(49回) 貸出人数 307人 貸出冊数 1,146冊 新規貸出カードを登録する人が毎回児童・一般合わせて20人以上いる。	事業を継続	◎	継続	貸出用絵本、一般書を充実させる。	中央図書館
	(イ)地 域の教 育力の 充実	150	子ども会など地域活動の機会の充実	・地域や関係機関などの協力による地域活動の促進	子ども会数 128 会員数 9,105人	128子ども会 8,878人	126子ども会 8,502人	125子ども会 8,317人	123子ども会 7,875人	地域ぐるみ親子ふれあい推進事業を実施した。 123単位子ども会活動の事業を推進した。	活動を継続	◎	継続	多数の親子が参加できる内容を選別して事業を実施する。 子どもの人口が減少する中、子ども会への加入を推進する。	生涯学習課
		151	市民との協働による講座などの開催	・市民団体が企画する子育てに関する講座などの協働開催及び支援	市民企画講座、子育て交流広場などを開催。 公民館講座や乳幼児学級の運営を市民団体と協働で行った。	実施	実施	実施	実施	市民企画講座や子育て親育ち広場で子育てに関する講座を開催。公民館講座・乳幼児学級等の運営を市民団体と協働で行った。	開催及び支援を継続	◎	継続		生涯学習課
		152	親子で参加できる講座の開催	・親子で参加できる各種体験講座の開催	講座数 24講座 参加者数 942人	38講座 1513人	37講座 1,670人	47講座 1,326人	36講座 1,072人	市民企画講座や公民館講座で開催した。	基準値の水準を維持	◎	継続		生涯学習課
		153	託児つき講座の開催	・就学前の子どもを持つ親が参加しやすいような託児つきの講座の開催	開催回数 23回 さんかく21・安城と協働して開催した講座(2回)において託児の設定をした。 地区公民館の定期講座において講座内容を考慮し、託児の設定をした。	4回	4回	4回	4回	さんかく21・安城と協働して開催した講座において託児を実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	継続して託児設定に努める。	市民協働課
						のべ8回 (のべ75人)	のべ4回 (のべ52人)	のべ6回 (のべ41人)	のべ4回 (のべ17人)	No.147のお母さんのための絵本講座(全4回)で託児を設定。 H25では受講者数が3名と大変少なかった。	基準値の水準を維持	◎	継続	講座のPRを入念にし、多くの市民が受講できるようにする。	中央図書館
						子育て支援センター 16回	子育て支援センター 12回	子育て支援センター 12回	子育て支援センター 12回	利用人数 593人	基準値の水準を維持	◎	継続		子育て支援課
						24回	23回	22回	24回	公民館講座・市民企画講座等で託児つき講座を開催した。	基準値の水準を維持	◎	継続		生涯学習課
	20回	22回	20回	23回	手話基礎講座23回	基準値の水準を維持	◎	継続	乳幼児を持つ親が講座を受講し、社会参加できるように継続して実施していく。	社会福祉協議会					
154	総合型地域スポーツクラブ育成事業(新規)	・地域の新しいスポーツ環境として、国が提案した総合型地域スポーツクラブを体育指導委員並びに地域住民と地区公民館が連携して、平成26年度までに2クラブを創設する。	平成20年度に1クラブ創設 ANJOほく部みんスポクラブ(東山中学区)	1クラブ	1クラブ	1クラブ	1クラブ	スポーツを通して地域のつながりができるようにと、活動をする地区がある。今後は組織の立ち上げに向けた支援を継続していく。	クラブ数 2クラブ	○	継続		スポーツ課		

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 家 庭や地 域の教 育力の 向上	(イ)地 域の教 育力の 充実	155	子育て相談の充 実(再掲)	(再掲16)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		156	学校施設開放の 充実(再掲)	(再掲46)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	スポーツ課
		157	ジュニアスポーツ 活動の支援(再 掲)	(再掲49)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	スポーツ課
		158	スポーツスクー ル・教室の開催 (再掲)	(再掲50)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	スポーツ課
エ 子ど もを取り 巻く有 害環境 対策の 推進		159	青少年相談事業 の充実(再掲)	(再掲59)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		160	健全育成に関す る啓発(再掲)	(再掲59)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		161	街頭指導活動の 充実(再掲)	(再掲60)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		162	有害図書立入調 査の実施(再掲)	(再掲61)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		163	青少年補導委員 研修会の開催 (再掲)	(再掲62)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		164	社会を明るくす る運動の充実(再 掲)	(再掲63)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	社会福祉課
		165	地域ぐるみ青少 年健全育成活動 の充実(再掲)	(再掲64)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		166	地域のおじさん・ おばさん運動の 推進(再掲)	(再掲65)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		167	青少年環境浄化 活動の充実(再 掲)	(再掲66)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課
		168	「家庭の日」の充 実(再掲)	(再掲67)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	生涯学習課

基本方針(4) 子育てを支援する生活環境の整備

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 良質 な住宅 の確保	169	計画的な公営住 宅の建替	・市営住宅及び県営住宅の建替の 促進	建替棟数 0棟	県営 依佐美住宅 1棟(52戸)	1箇所 工事中	1箇所	0箇所	建替なし	建替棟数 2棟 (84戸)	△	継続	市営井杭山住宅及び広 畔住宅を建替予定であ る。	建築課	
		170	宅地供給の促進	・基盤整備のための区画整理事業 の推進や市街化区域内の宅地化の 促進と民間の秩序ある宅地開発の 誘導	引き続き事業に必要な 用地確保のため、老 朽建築物などの買収・ 除却を実施	実施	実施	実施	実施	桜井区画整理地内の 保留地の販売を行っ た。	事業を継続	◎	継続	桜井区画整理の基盤整 備、宅地造成を図り、保 留地の分譲数を増加さ せ、安定した宅地の提供 を目指す。	区画整理課
	実施					実施	実施	実施	引き続き平成15年度より 進めている事業に必要 な用地を確保するため、 老朽建築物等の買収・ 除却を行った。	事業を継続	◎	継続	老朽建築物等の買収・ 除却及び家屋移転の促進 と市民との協働によるまち づくりの推進	南明治整備課	
イ 良好 な居住 環境の 確保	171	児童遊園、ち びっこ広場等の 整備	・児童遊園、ちびっ子広場等の整備	児童遊園 16箇所 ちびっこ広場 37箇所 その他の広場 70箇所	16箇所 37箇所 70箇所	16箇所 39箇所 69箇所	16箇所 39箇所 68箇所	16箇所 38箇所 68箇所	町内会要望を基に遊 具・施設等の更新修繕 を実施	基準値の水準を維持	◎	継続		子育て支援課	
	172	児童センター運 営の推進(再掲)	(再掲5、43)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課 社会福祉協議会	
	173	都市公園の計画的な 整備	・公園と緑地の整備	都市公園 102箇所 2箇所新設	105箇所	105箇所	106箇所	109箇所	桜井南公園、桜井駅前 公園、柳原公園を整備 した。	都市公園 107箇所	◎	充実	新規公園の整備計画を 検討していく。	公園緑地課	
	174	公園施設の維持 管理	・公園遊具等の定期的な点検及び 修理	遊具点検5回、遊具の ある公園84箇所で実 施した	遊具 5回 砂場 2回	遊具 5回 砂場 2回	遊具 5回 砂場 3回	遊具 5回 砂場 3回	遊具のある公園90箇所 及び砂場のある公園73 箇所で実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	公園整備の翌年から実 施していく。	公園緑地課	
ウ 安全な道 路交通 環境の 整備	175	地域の道路や歩 道の整備	・道路、歩道の整備 ・通学路整備、交差点改良整備	道路 4,263m 歩道 3,290m	道路 1,854m 歩道 1,701m	道路1,750.6m 歩道1,658.3m	道路 962.6m 歩道 763.8m	道路 493.3m 歩道 708.6m	市内一円で実施 道路は歩道整備計画 を含む車道整備工事の 実績 歩道は歩道整備完了 延長	整備を継続	◎	継続	継続して整備を図る。	土木課	
	176	交通安全施設の 整備	・道路照明灯設置	道路照明灯 46基	5基	6基	4基	7基	主に町内会土木要望を 受け、必要な箇所へ設 置した。	設置を継続	◎	継続		維持管理課	
			・防護柵、道路反射鏡の設置	防護柵 2,382m 道路反射鏡 53基	1,573m 35基	19m 32基	482m 24基	177m 31基	主に町内会土木要望を 受け、必要な箇所へ設 置した。	設置を継続	◎	継続		維持管理課	
			・信号機の設置	定周型信号機、 押ボタン信号機、 歩行者用信号機 各1基	定周型信号機 右折矢印信号機 各2基 押ボタン信号機 歩行者用信号機 各1基	定周型信号機 右折矢印信号機 各2基 押ボタン信号機 1基、歩行者用 信号機2基	定周型信号機1 基、右折矢印信 号機4基、押ボタ ン信号機1基、 歩行者用信号 機1基	歩行者用 信号機 3基	道路新設や学校要望 個所について信号設置 を要望した。	設置を警察に 継続要望	◎	継続	信号設置が必要な場所 に設置を警察に継続要望	市民安全課	

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要		基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
エ 安心 して外 出で可 る環境 の整備	(ア)公 共交通 機関の バリア フリー 化の促 進	177	公共交通機関の バリアフリー化の 促進	・あんくるバスに小型ノンステップバ スの導入	全路線導入済 導入台数 7台	10台	10台	10台	10台	全路線導入済 (継続10路線導入済)	基準値の水準を維持	◎	継続	ルート等の改編に伴う路 線数の増加に伴い随時 導入していく	都市計画課
		178	建築物のバリア フリー化の促進	・愛知県「人にやさしい街づくりの推 進に関する条例」に基づく整備	中部福祉センター、安 城南中学校、桜井駅 公衆トイレ、デンパー ク	6箇所	3箇所	3箇所	2箇所	条例の対象となる施設 はなかったが、ゆたか 保育園及び丈山第1・ 第2児童クラブでは建 物のバリアフリー化を 実施した。	整備を継続	◎	継続	子どもや妊産婦をはじ め、あらゆる人が安全、 安心、快適に利用できる 公共建築物のバリアフ リー化を推進する。	各施設所管課 建築課
	(イ)子育 て世帯な どにやさ しいとい れなどの 整備	179	多目的トイレ・お むつ交換台、授 乳室の設置	・愛知県「人にやさしい街づくりの推 進に関する条例」に基づく整備	安城南中校舎北棟、 中部福祉センター、桜 井駅公衆トイレ、デン パークに多目的トイレ を設置	3箇所	4箇所	2箇所	4箇所	ゆたか保育園、安城西 部小学校、桜井南公 園、弥厚公園に多目的 トイレを1箇所整備し た。	整備を継続	◎	継続	子育て中の人が利用す る公共施設に、多目的 トイレやおむつ交換台、授 乳室の設置を推進する。	各施設所管課 建築課
オ 安 全・安心 まちづ くりの推 進など		180	防犯灯の設置の 補助	・町内会等からの要望に対する防 犯灯の設置の補助	新設 330基 更新 107基 49町内会に補助金を 交付	212基 151基 49町内会	147基 224基 43町内会	188基 222基 58町内会	193基 222基 67町内会	補助対象をLEDとして いる。 補助金の活用として補 助基数の上限割当を設 定している。	補助を継続	◎	継続	補助を継続	市民安全課
		181	市営住宅の防犯 灯の整備	・市営住宅の防犯灯の整備	設置箇所数 0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	新設設置箇所なし。	1箇所	×	継続	必要な箇所を整備する。	建築課
		182	公園などの公園 灯の整備	・都市公園などの公園灯の整備	設置基数 12基 新設 1箇所	13基	13基	14基	16基	塔ノ下公園、大池公園 に設置した。	整備を継続	◎	継続	必要な箇所に設置してい く。	公園緑地課

基本方針(5) 職業生活と家庭生活の両立の推進

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ア 仕事 と生活 の調和 実現の ための 働き方 の見直し	183	事業所育児講座 の支援	・事業所での育児講座の開催に協力し、保育士を講師として派遣	実施回数 6回 (2事業所)	0回 (0事業所)	1回 (1事業所)	0回 (0事業所)	0回 (0事業所)	実施回数 0回(事業所 からの派遣依頼なし)	講座の継続	×	見直し・ 改善	今後は子育て支援講座 の講師を紹介し、講座開 催協力をしていく。	子育て支援課
	184	男女共同参画社 会推進事業の推 進	・固定的性別役割分担意識の見直しと男女の多様な働き方への啓発 や講座の開催	開催回数 5回 週間、月間イベント、エ ンパワメント講座、ステップ アップ講座、実践講座を 開催した	5回	5回	5回	5回	週間・月間イベント、エ ンパワメント講座、実 践講座、さんかく21カ レッジを開催した。	基準値の水準を維持	◎	継続	男女平等の意識づくりと 家庭や社会での性別役 割分業について「気づく」 ことや見直し、男女の多 様な働き方についての啓 発や講座の開催に努め る。	市民協働課
	185	男女が働きやす い環境づくりセ ミナーの開催協力	・社会一般の認識や理解を深めると ともに、職業人としての自己啓発を 図るセミナーの開催に協力し、広報 などにより周知	実施回数 2回	0回	1回	2回	2回	市広報、ホームペー ジの掲載又はチラシ等の 配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
	186	仕事と家庭の両 立を考えるセ ミナーの開催協力	・育児・介護休業法の趣旨や内容に ついての啓発を図るセミナーの開催 に協力し、広報などにより周知	実施回数 1回	1回	2回	2回	1回	チラシの配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
	187	労働相談の開催 協力	・労働相談の開催に協力し、広報な どにより周知	実施回数 12回	12回	13回	14回	13回	市広報、ホームペー ジの掲載又はチラシ等の 配布	相談の継続	◎	継続	相談の継続	商工課
	188	職業相談の開催 協力	・職業相談の開催に協力し、広報な どにより周知	利用者数 5,889人	7,676人	6,135人	5,901人	7,050人	地域職業相談室の運 営支援	相談の継続	◎	継続	相談の継続	商工課
	189	地域職業相談室 の活用	・情報コーナーでパソコンによる求 人情報の検索	利用者数 12,596人	25,897人	20,206人	19,141人	16,850人	情報コーナーでパソ コンによる求人情報の検 索	相談室の継続	◎	継続	相談室の継続	商工課
	190	ハローワークな ど関係機関との 連携	・関係機関と連携した雇用及び労働 条件の改善	実施回数 11回	7回	9回	15回	12回	市広報、ホームペー ジの掲載又はチラシ等の 配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
	191	仕事と子育ての 両立のための広 報や啓発、情報 提供の充実	・男女雇用機会均等法、労働基準 法、育児・介護休業法などの周知	実施回数 7回	6回	5回	4回	6回	チラシ等の配布	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	商工課
イ 仕事 と子育て の両立 のための 基盤整備	192	ファミリー・サ ポート・センター 事業の推進(再 掲)	(再掲3、11)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
	193	放課後児童健全 育成事業(児童 クラブ)の推進 (再掲)	(再掲4、42)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
	194	児童センター運 営の推進(再掲)	(再掲5、43、172)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課 社会福祉協議会

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 仕事 と子育ての両 立のための基 盤整備		195	子育て短期支援 事業(ショートス テイ)の充実(再 掲)	(再掲6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
		196	休日保育事業の 充実(再掲)	(再掲23)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		197	夜間帯保育事業 の推進(新規-再 掲)	(再掲24)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		198	一時保育事業の 推進(再掲)	(再掲6、26)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		199	特定保育事業の 推進(新規-再 掲)	(再掲9、25)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		200	幼稚園における 預かり保育の検 討(再掲)	(再掲10、142)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		201	認可外保育施設 への支援(再掲)	(再掲32)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		202	民間児童クラブ への支援(再掲)	(再掲33)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
		203	子育て支援総合 拠点施設整備 (新規-再掲)	(再掲17、37)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
		204	通常保育事業の 充実(再掲)	(再掲19)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		205	延長保育事業の 推進(再掲)	(再掲20)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		206	乳児保育事業の 充実(再掲)	(再掲21)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		207	障害児保育事業 の充実(再掲)	(再掲27、140)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		208	事業所育児講座 の支援(再掲)	(再掲183)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課
		209	男女共同参画社 会推進事業の推 進(再掲)	(再掲184)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	市民協働課

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性	担当課
イ 仕事 と子育て の両立の ための基 盤整備		210	男女が働きやす い環境づくりセミ ナーの開催協力 (再掲)	(再掲185)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		211	仕事と家庭の両 立を考えるセミ ナーの開催協力 (再掲)	(再掲186)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		212	労働相談の開催 協力(再掲)	(再掲187)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		213	職業相談の開催 協力(再掲)	(再掲188)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		214	地域職業相談室 の開催協力(再 掲)	(再掲189)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		215	ハローワーク等 関係機関との連 携(再掲)	(再掲190)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課
		216	仕事と子育ての 両立のための広 報・啓発・情報提 供の充実(再掲)	(再掲191)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	商工課

基本方針(6) 子どもの安全の確保

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課	
ア 子ども の交通安全 を確保する ための活動 の推進	(ア)交通安全 教育の推進	217	交通事故・事故 防止情報の提供	・子どもを交通事故の被害から守る ための情報提供	市広報紙 4回 緊急情報 チラシ	4回 緊急情報 チラシ	4回 緊急情報 チラシ	4回 緊急情報 チラシ	4回 緊急情報 チラシ	四季の市民運動前に、 実施要綱及びホーム ページでPRを行った。	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	市民安全課
		218	交通安全広報活 動の充実	・地域や関係機関が連携した街頭 キャンペーンなどの実施	交通安全市民運動 実施回数 4回	4回	4回	4回	4回	四季の市民運動前にお いて、地域や関係機関 が連携した街頭キャン ペーンを実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	基準値の水準を維持	市民安全課
	(イ)チャ イルド シートの 正しい使 用の徹 底	219	幼児交通安全ク ラブ運営事業(新 規)	・幼児交通安全クラブ連絡協議会や 各クラブでの行事の際、チャイルド シートの使用効果及び正しい使用 方法の啓発を行う。	クラブ数 12クラブ 連絡協議会 年6回 各クラブで各行事開催 モデル園 1園	10クラブ 年6回 各クラブで各 行事開催	11クラブ 年4回 各クラブで各 行事開催	12クラブ 年4回 各クラブで各 行事開催	11クラブ 年4回 各クラブで各 行事開催	行事の際、チャイルド シートの使用効果及び 正しい使用方法の啓発 を行った。	基準値の水準を維持	△	継続	基準値の水準を維持	市民安全課
	(ウ)自 転車の 安全利 用の推 進	220	交通安全教育の 充実	・学校などでの交通安全教室の開 催	交通安全教室の開催 幼稚園・保育園 40回 小中学校等 26回 高齢者・一般 39回	46回 22回 24回	44回 24回 23回	35回 27回 25回	29回 23回 17回	学校などで交通安全教 室を開催した。	開催回数 120回	△	継続	基準値の水準を維持	市民安全課
・交通安全ポスターの募集				応募点数 4,203点	3,602点	4,181点	3,537点	4,455点	児童、生徒から	募集を継続	◎	継続		市民安全課	
・子ども自転車大会の開催				参加者数 32人(3校8チーム)	39人 (3校7チーム)	35人 (3校6チーム)	42人 (3校9チーム)	37人 (4校8チーム)		開催を継続	◎	継続		市民安全課	
イ 子ども を犯罪など の被害から 守るための 活動の推進	(ア)犯罪に関 する情報 の提供の 推進	221	犯罪・被害情報 の提供	・子どもを犯罪の被害から守るため の情報提供	実施回数 99回 犯罪統計町内会 回覧 12回 声かけ事案などの 発生状況 3回 安全・安心情報メール 84回	全63回 12回 4回 47回	全59回 12回 1回 46回	全74回 12回 0回 62回	全82回 12回 0回 70回	連れ去り、誘拐犯の出 没を中心に不審者の情 報を提供した。	基準値の水準を維持	△	継続	情報提供の継続	市民安全課
					(イ)子ど もを犯罪 などの被 害から守 るための 関係機関 などとの 情報交換	222	地域安全広報活 動の充実	・地域や関係機関が連携した街頭 キャンペーンなどの実施	実施回数 10回	10回	12回	13回	16回	市民に防犯意識を高 めもらうために各種の キャンペーンを行った。	実施回数 12回
	(ウ)関 係機関 と連携 したパ トロー ル活動 などの 安全対 策の推 進	223	パトロール活動 の推進(一部新 規)	・地域と関係機関が連携したパト ロール活動の実施	実施団体数 90団体 パトロール用品支援団体数 67町内会、17小学 校、6中学校	87団体 65町内会 18小学校 4中学校	90団体 66町内会 20小学校 4中学校	90団体 68町内会 16小学校 5中学校	91団体 65町内会 19小学校 7中学校	自主防犯パトロール隊 及び小中学校に用品提 供を行った。	基準値の水準を維持	◎	継続	今後とも積極的な支援を 継続	市民安全課
				・単位老人クラブを母体とした散歩 途中における公園や街路にいる子 どもたちへの声かけ	実施団体数 68団体	63団体	66団体	66団体	66団体	児童が登校する際の見 守りなど 63団体	基準値の水準を維持	△	見直し・ 改善	老人クラブだけでなく、町 内会、子ども会、学校な ども含めて取り組んでい く。	社会福祉課 市民安全課
・週末における都市公園のガードマ ンによる巡回				実施箇所数 50箇所	51箇所	51箇所	79箇所	79箇所	市街地の公園を中心に 79公園で実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	公園整備にあわせ、必要 な公園のパトロールを検 討していく。	公園緑地課	

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指 標達成 状況	後期計画での方向性		担当課	
イ 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進	(ウ)関係機関と連携したパトロール活動などの安全対策の推進	224	スクールガード事業(新規)	・児童生徒が事件や事故に巻き込まれることなく安全・安心な学校生活を送れるように、地域と連携した安全管理体制を整備する。	県の事業として全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	継続	学校教育課	
	(エ)防犯講習の実施	225	地域安全教育の推進	・幼児や児童の保護者への地域安全教室の開催	開催回数 46回 幼児対象 5回 児童対象 11回 大人対象 30回	全 80回 幼・保育園 4回 小中学校 26回 大人対象 50回	全 71回 幼・保育園 4回 小中学校 23回 大人対象 44回	全 82回 幼・保育園 1回 小中学校 26回 大人対象 55回	全 90回 幼・保育園 0回 小中学校 31回 大人対象 59回	こどもや高齢者をはじめ市民が犯罪の被害に会わないように知識を身につけてもらうための教室を開催した。	基準値の水準を維持	◎	継続	防犯教室を継続	市民安全課
		226	学校安全教育などの推進	・学校などの周辺の点検や危機管理マニュアルの作成	小中学校、幼・保育園、児童クラブ、児童センターで作成し、不審者対応訓練を実施	継続	継続	継続	継続	幼稚園については年1回以上を実施(不審者対応訓練)	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も安全教育として、継続実施していく。	子ども課 学校教育課
	・警察などとの協力による防犯教室の開催(保育園・幼稚園)			職員対象の防犯講習会を年1回実施	継続	継続	継続	継続	市民安全課が実施した防犯講習会に参加(1回)	基準値の水準を維持	◎	継続	今後も安全教育として、継続実施していく。	子ども課	
	(オ)防犯ボランティアなどに対する支援	227	「こども110番の家」の推進	・子どもを犯罪や危険から守るための「こども110番の家」の看板の設置	実施箇所数 1,017箇所	1,044箇所	1,054箇所	1,022箇所	1,018箇所	21小学校区にこども110番の家を設置した。	実施箇所数 1,250箇所	○	継続		生涯学習課
		228	交通安全事業の指導者派遣業務(新規)	・保育園・幼稚園・小中学校の交通安全教室に指導者を派遣し、指導する。自転車教室などでヘルメット着用の指導を行う。	派遣回数 幼・保育園 40回 小学校等 23回 中学校等 30回	幼・保育園 46回 小学校等 21回 中学校等 25回	幼・保育園 44回 小中学校 24回	幼・保育園 35回 小中学校等 27回	幼・保育園 36回 小中学校等 26回	交通安全教室に指導者を派遣し、正しい自転車の乗り方や安全な歩行方法の指導を行った。	基準値の水準を維持	△	継続	基準値の水準を維持	市民安全課
ウ 被害に遭った子どもの保護の推進	229	教育相談体制の充実(再掲)	・不登校児童や生徒の家庭へ指導員の定期的な訪問(再掲122)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	教育センター	
			・スクールカウンセラーの活用(中学校)(再掲122)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	学校教育課

基本方針(7) 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課	
ア 児童 虐待防 止対策 の充実	(ア)関 係機関 との連 携など	230	安城市虐待等防 止地域協議会の 推進	・関係機関との情報交換による児童 虐待の早期発見、防止活動、援助 活動及び啓発活動	代表者会議 2回 実務者会議 12回 個別ケース検討会議 4回	3回 12回 9回	3回 12回 21回	3回 12回 36回	3回 12回 38回	代表者会議 3回 実務者会議 12回 個別ケース検討会議 38回	代表者会議開催回数 3回	◎	継続	関係機関が子どもの虐 待問題について共通の認 識を持ち、相互の連携・ 協力のもとに虐待相談や 防止対策に向けた取組 の推進に努める。	子育て支援課
		231	虐待に関する相 談の推進	・家庭児童相談員による児童虐待 に関する相談や指導	相談員数 2人 相談件数 260件 (虐待77件)	2人 283件	2人 305件	3人 261件	3人 317件	児童虐待に関する通 報を受けて、児童相談 センター等関係機関と 連携をとり、相談、訪問 等を実施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	児童虐待に関する通報 や相談の対応などを行う 業務であり、今後も継続 の必要がある。	子育て支援課
		232	主任児童委員、 民生児童委員に よる支援	・児童虐待の早期発見・早期対応	主任児童委員 21人 民生児童委員 187人	21人 191人	21人 191人	21人 191人	21人 195人	主任児童委員会・児 童福祉部会の研修とし て、虐待問題を取上 げ、発生予防、早期発 見等の共通認識を持つ 研修を行った。	基準値の水準を維持	◎	継続	児童虐待の発生予防か ら早期発見・早期対応及 び家庭復帰・再発防止を 推進するためには関係機 関の連携強化が不可欠 であるため、今後も継続 実施する。	子育て支援課
		233	養育支援訪問事 業の推進(再掲)	(再掲2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て支援課 社会福祉協議会
	(イ)発生 予防、早 期発見・ 早期対 応など	234	乳児家庭全戸訪 問事業(こんいち は赤ちゃん訪問) (新規-再掲)	(再掲1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	健康推進課 (保健センター)
イ 母子 家庭な どの自 立支援 の推進		235	母子家庭などの 親への就業の支 援	・母子家庭自立支援教育訓練給付 金、母子家庭高等職業訓練促進給 付金の支給	高等職業訓練給付金 3人	自立支援給付金 1人 高等職業訓練 給付金 4人	自立支援給付金 0人 高等職業訓練 給付金 3人	自立支援給付金 1人 高等職業訓練 給付金 4人	自立支援給付金 1人 高等職業訓練 給付金 3人	自立支援教育訓練給 付は 1件。 高等職業訓練促進給 付(正看護師1件、准看 護師1件、理学療法士1 件)	支給を継続	◎	継続	資格の取得に対する支 援は母子家庭の自立に 有効であり、今後も継続 して実施する。	子育て支援課
		236	母子相談の充実	・母子家庭の抱える諸問題に対す る母子自立支援員による相談・助 言・指導	母子自立支援員 1人 相談指導 755件	1人 764件	1人 553件	1人 649件	1人 495件	相談内容別では生活 一般169件、児童相談7 件、経済的支援・生活 支援319件、その他0 件、総計495件です。	基準値の水準を維持	△	継続	母子家庭及び寡婦の生 活と自立が図られことか ら、継続して実施する。	子育て支援課
		237	ひとり親家庭相 互の親睦を深め るための行事の 開催	・定期的な情報交換会と懇親を深め る行事の開催	開催回数 7回 母子福祉会に委託し、 親子クッキング、情報 交流会など7回の行事 を実施	7回	6回	6回	6回	情報交流会2回(入進 学激励会含む)、バス 旅行、おたのしみ会、ク リスマス会、ボウリング 大会などを行った。	基準値の水準を維持	△	継続	ひとり親家庭に対して地 域における支援の輪づく りは効果があると考えら れるため今後も継続して いく。	子育て支援課
		238	児童扶養手当の 支給	・「児童扶養手当法」に基づく手当の 支給	受給者数 1,120人 新規認定等 125人 資格喪失等 123人	1,277人	1,313人	1,327人	1,348人	・全部支給576人 ・一部支給600人 ・全部支給停止172人	支給を継続	◎	継続	母子及び父子世帯等の 生活の安定及び生活水 準の確保、児童の健全育 成が図られることから、継 続して実施する。	子育て支援課
		239	遺児手当の支給	・「安城市遺児手当支給条例」に基 づく遺児を養育している方を対象と した手当の支給	受給者数 1,448人 新規認定等 217人 資格喪失等 180人	2,520人	2,504人	2,522人	2,491人	・離婚2,001人・未婚158人 ・死亡247人 ・拘禁1人 ・障害78人 ・遺棄4人 ・保護命令0人 ・その他2人	支給を継続	◎	継続	ひとり親家庭等の生活 の安定と遺児の健全育 成と福祉の向上に必要な 事業である。	子育て支援課
		240	母子家庭等医療 費の助成	・「安城市母子家庭等医療費助成条 例」に基づく母子家庭の母及び父子 家庭の父並びにこれらの家庭の児 童(18歳の年度末まで)を対象とし た医療費の助成	受給者数 2,898人	2,839人	2,885人	2,914人	2,893人	受給者数 2,893人 (受給者証)	助成を継続	◎	継続	制度の周知を図る	国保年金課

基本的 施策	具 体 的 施 策		具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
イ 母子 家庭な どの自 立支援 の推進	241	母子寡婦福祉資 金の貸付	・「母子及び寡婦福祉法」に基づく福 祉金の貸付	貸付件数 87人 新規貸付等 2人 償還終了等 12人	75人 4人 15人	64人 4人 7人	61人 4人 7人	55人 1人 8人	相談指導結果報告に よると母子福祉資金貸 付相談は延べ84回、償 還指導は延べ150件。	貸付を継続	◎	継続	母子世帯及び寡婦の自 立支援に寄与するところ が大きく、今後も継続して いく。	子育て支援課
	242	遺児へ入学祝品 の配布	・安城市遺児手当受給児童・生徒を 対象とした入学祝品の配布	配布者数 261人 小学生 77人 中学生 143人 高校生 41人 配布者数 290人 小学生 97人 中学生 193人	260人	294人	258人	250人	小学生 67人 中学生125人 高校生 58人 ・小学校(90人) 男子42人 女子48人 ・中学校(183人) 男子99人 女子84人	配布を継続	◎	継続	遺児手当受給世帯の入 進学児童及び生徒に祝 品を配布することで、経 済的負担の軽減を図るこ とができるため、今後も 実施していく。	社会福祉協議会
	243	母子家庭等日常 生活支援事業の 推進	・母子家庭などにおいて技能習得の ための修学、疾病などによる一時 的な困窮者への生活援助や保育支 援をする事業	登録者数 11人 生活援助 1世帯 4.5時間 子育て支援 1世帯 9時間	1人	1人	1人	0人	子育て支援 0人	支援を継続	◎	継続	派遣家庭件数は少ない ものの今後も継続してい く必要がある。	子育て支援課
	244	徘徊知的障害児 (者)家族支援事 業の充実	・徘徊知的障害児の探索のため、G PS(全地球測位システム)を利用し た器具の貸出	貸出台数 6台	5台	5台	5台	4台	徘徊知的障害児4名に 器具を貸出した。	貸付を継続	◎	継続		障害福祉課
ウ 障 害児施 策の充 実	245	当事者団体への 支援	・手をつなぐ親の会やひまわり会へ の支援	支援団体数 3団体	2団体	2団体	2団体	2団体	福祉関係団体活動助 成金として支援した。	支援を継続	◎	継続	レクリエーションを実施す る障害児・者団体に対す るきめ細やかな支援であ るため、今後も実施して いく。	障害福祉課 社会福祉協議会
	246	移動支援事業の 充実	・脳性麻痺、視覚障害児の社会活 動参加への支援	支援者数 68人	75人	81人	76人	90人	地域生活支援事業の 移動支援として実施し た。	支援を継続	◎	継続		障害福祉課
	247	肢体不自由児童 生徒介護員派遣 事業の充実	・肢体不自由児童・生徒を対象とし た介護員を派遣する事業	派遣件数 3回 (申請者1名)	0回 (1人)	0回 (2人)	0回 (0人)	0回 (0人)	申請がなかった。	派遣を継続	◎	継続		障害福祉課
	248	特別支援教育補 助員事業(新規)	・発達障害をはじめ様々な要因によ り、学校生活や学習において困難を 抱えている生徒に対し、個別支援に より対象となる児童生徒やその児 童生徒が帰属する集団の健やかな 成長を支援する。	全小中学校にて実施	全小中学校 で実施	全小中学校 で実施	全小中学校 で実施	全小中学校 で実施	基準値の水準を維持	基準値の水準を維持	◎	充実		学校教育課
	249	特別児童扶養手 当の進達事務	・「特別児童扶養手当等の支給に関 する法律」に基づく手当の支給	受給者数 279人	322人	318人	299人	309人	法に基づき支給した。	業務を継続	◎	継続		障害福祉課
	250	障害児福祉手当 の支給	・「特別児童扶養手当等の支給に関 する法律」に基づく手当の支給	受給者数 89人	103人	101人	97人	100人	法に基づき支給した。	支給を継続	◎	継続		障害福祉課
	251	障害者扶助料の 支給	・「安城市障害者扶助料支給条例」 に基づく重度心身障害児(者)及び 監督保護者を対象とした手当の支 給	受給者数 480人	507人	519人	521人	541人	条例に基づき支給し た。	支給を継続	◎	継続		障害福祉課

基本的 施策	具 体 的 施 策			具体的施策の概要	基準値 (平成20年4月現在)	実績値 (平成22年度)	実績値 (平成23年度)	実績値 (平成24年度)	実績値 (平成25年度)	平成25年度 実績内容	目標指標 (平成26年度)	目標指標 達成状況	後期計画での方向性		担当課
ウ 障 害児施 策の充 実		252	重度心身障害児 (者)医療費の助 成	・「安城市心身障害者医療費助成条 例」に基づく重度心身障害児(者)を 対象とした医療費の助成	受給者数 1,783人	1,810人	1,834人	1,856	1,832人	受給者数 1,832人 (受給者証)	助成を継続	◎	継続	制度の周知を図る	国保年金課
		253	修学旅行費の助 成	・要保護・準要保護の児童及び生徒 を対象とした修学旅行費の助成	受給者数 201人 小学生 97人 中学生 104人	198人	224人	208人	219人	小学生101人 中学生118人	助成を継続	◎	継続	要保護世帯の児童及び 生徒に対するきめ細かな 支援であるため、今後も 実施していく。	社会福祉協議会
		254	補装具の交付及 び日常生活用具 の給付	・補助具の交付及び日常生活用具 の給付	補助具 117件 日常生活用具 377件	74件 316件	84件 319件	102件 318件	98件 312件	補装具の交付及び日 常生活用具の給付を実 施した。	給付を継続	◎	継続	自立支援給付及び地域 生活支援事業	障害福祉課
		255	精神障害者医療 費助成事業(新 規)	・精神保健及び精神障害者福祉に 関する法律第5条に規定する病名 で入院治療している方、精神障害 者保健福祉手帳1、2級を所持して いる方、自立支援医療(精神通院) 制度を利用している方に対して、医 療費を助成する。	平均受給者数 1,307人	1,503人	1,642人	1,742	1,891人	受給者数 1,891人 (受給者証)	助成を継続	◎	継続	制度の周知を図る	国保年金課
		256	短期入所事業の 充実	・保護者の疾病などの理由により、 家庭において障害児を一時的に介 護できないときに入所施設で一時的 に預かる事業	入所 10箇所 通所 14箇所 自立支援法の短記 入諸施設で実施	10箇所 20箇所	12箇所 22箇所	9箇所 24箇所	9箇所 26箇所	入所は自立支援給付の 短期入所施設で実施。 通所は地域生活支援事 業の日中一時支援で実 施。	事業を継続	◎	継続	自立支援給付及び地域 生活支援事業	障害福祉課
		257	療育センター運 営の充実	・発達に遅れがあると思われる児童 の早期発見・早期療育	実施箇所数 1箇所 卒所後就園先への 事後観察実施	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	年齢別など状況に合わ せたグループ編成をし 延べ513回の療育を実 施した。	基準値の水準を維持	◎	継続	保健センター、子ども課 などの機関と連携を図 り、早期発見と療育の充 実に努める。	子ども課
		258	サルビア学園運 営の充実	・知的障害のある概ね3歳から就学 前までの幼児を対象とした個別的、 集団的な療育の実施	実施箇所数 1箇所 定員数30名 (35名在籍)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	定員は40名であるが、 45名の障害児が利用し た。	基準値の水準を維持	◎	継続	療育支援の必要な障害 児が増加しているため、 平成25年度より定員を30 名から40名に引き上げ た。 引き続き療育の充実に 努めていく。	子ども課
		259	障害児保育事業 の充実(再掲)	(再掲27、140、207)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	子ども課
		260	特別支援教育の 推進	・就学指導委員会の判定を受け、保 護者が希望した場合の特別支援学 級などでの受入	情緒障害特別支援学級 小学校 13校 中学校 4校	17校 6校	19校 7校	20校 8校	20校 8校	基準値の水準を維持	小学校 17校 中学校 6校	◎	継続		学校教育課
					難聴特別支援学級 小学校 1校 中学校 0校	1校 0校	1校 0校	1校 0校	1校 0校	基準値の水準を維持	小学校 1校 中学校 1校	○	継続		学校教育課
					情緒障害通級指導教室 文山、西部小で実施 中学校 0校	小学校 4校	小学校 4校	小学校 6校	小学校 6校	基準値の水準を維持	小学校 3校 中学校 0校	◎	継続		学校教育課
					知的障害特別支援学級 小学校 14校 中学校 4校	16校 5校	17校 6校	17校 6校	17校 6校	基準値の水準を維持	小学校 14校 中学校 5校	◎	継続		学校教育課